

第10期群馬県高齢者保健福祉計画
の策定のための県民意識調査
《報告書》

令和8年3月
群馬県

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果（介護保険制度等に関する県民意識調査）	5
1	属性	7
2	日常生活について	8
3	介護に関するサービスの利用について	11
4	介護予防について	18
5	介護保険料について	20
6	地域包括支援センターについて	21
7	認知症について	24
8	在宅医療・介護について	29
9	人生最終段階の医療・ケアについて	30
10	薬局について	32
11	その他	36
III	調査結果（介護家族等に関する県民意識調査）	37
1	属性	39
2	介護保険制度について	40
3	介護に関するサービスの利用について	42
4	介護離職及び学業への影響について	49
5	ダブルケア（介護・子育ての同時対応）について	52
6	地域包括支援センターについて	58
7	人生最終段階の医療・ケアについて	64
8	その他	65

I 調査の概要

1 調査の目的

介護保険制度及び介護家族等に関する県民の意見・要望を把握し、第10期群馬県高齢者保健福祉計画の策定及び政策立案の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の内容

(1) 介護保険制度等に関する県民意識調査

- ①属性
- ②日常生活について
- ③介護に関するサービスの利用について
- ④介護予防について
- ⑤介護保険料について
- ⑥地域包括支援センターについて
- ⑦認知症について
- ⑧在宅医療・介護について
- ⑨人生最終段階の医療・ケアについて
- ⑩薬局について
- ⑪その他

(2) 介護家族等に関する県民意識調査

- ①属性
- ②介護保険制度について
- ③介護に関するサービスの利用について
- ④介護離職及び学業への影響について
- ⑤ダブルケア（介護・子育ての同時対応）について
- ⑥地域包括支援センターについて
- ⑦人生最終段階の医療・ケアについて
- ⑧その他

3 調査の設計

- (1) 対象地域 群馬県全域
- (2) 調査対象 介護保険制度等に関する県民意識調査：群馬県内在住の65歳以上の男女
介護家族等に関する県民意識調査：群馬県内在住の18歳以上65歳未満の男女
- (3) 標本数 介護保険制度等に関する県民意識調査：1,600人
介護家族等に関する県民意識調査：2,000人
- (4) 抽出方法 各市町村の人口をもとに対象者数を市町村ごとに割り当て、各市町村において住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収及びWEB回収
- (6) 調査期間 令和7年12月25日(木)～令和8年1月31日(土)

4 回収結果

高齢者 保健福祉 圏域	構成市町村	介護保険制度等に関する 県民意識調査				介護家族等に関する 県民意識調査			
		対象数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)	前回 回収率 (参考)	対象数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)	前回 回収率 (参考)
前橋	前橋市	200	120	60.0	55.5	230	82	35.7	45.5
高崎安中	高崎市、安中市	270	160	59.3	64.8	310	156	50.3	45.9
渋川	渋川市、榛東村 吉岡町	110	66	60.0	61.8	130	59	45.4	57.0
藤岡	藤岡市、上野村 神流町	100	62	62.0	61.0	120	51	42.5	41.1
富岡	富岡市、下仁田町 南牧村、甘楽町	110	76	69.1	66.4	130	55	42.3	45.0
吾妻	中之条町、長野原町 嬭恋村、草津町 高山村、東吾妻町	120	71	59.2	65.8	180	74	41.1	45.0
沼田	沼田市、片品村 川場村、昭和村 みなかみ町	120	74	61.7	67.5	160	66	41.3	44.2
伊勢崎	伊勢崎市、玉村町	140	71	50.7	61.4	200	98	49.0	40.0
桐生	桐生市、みどり市	130	74	56.9	55.4	130	54	41.5	26.7
太田館林	太田市、館林市 板倉町、明和町 千代田町、大泉町 邑楽町	300	176	58.7	57.7	410	175	42.7	38.1
	不明	-	1	-	-	-	-	-	-
	合計	1,600	951	59.4	61.9	2,000	870	43.5	42.8

※不明の1件は、全設問で無回答であったため、集計対象から除外している

5 報告書の見方

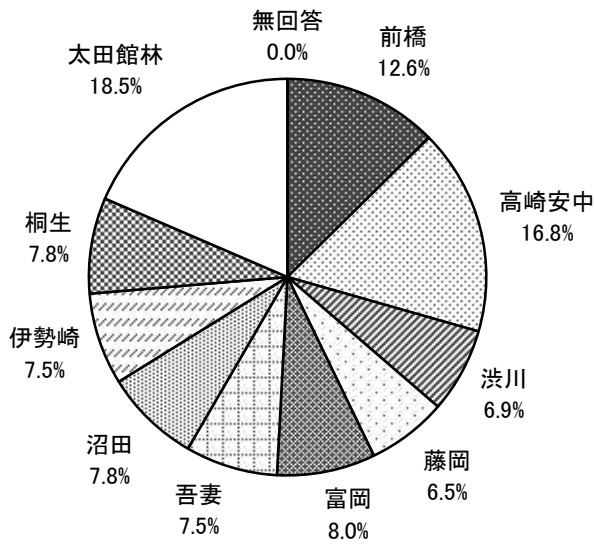
- (1) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって単数回答の設問については、すべての選択肢の合計が100.0%に満たない、または上回る場合がある。
- (2) 複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- (3) 複数回答の設問のグラフについては、「特になし」等を除き、選択肢を降順に並び替えている。
- (4) 本文、集計表やグラフ上の選択肢表記は語句を簡略化してある場合がある。
- (5) クロス集計表において、全体よりも10ポイント以上高い割合は濃いグレー、全体よりも10ポイント以上低い割合は薄いグレーとしている。
- (6) グラフに表記されている「N=*」(*は数字)は、集計対象の母数を表している。
- (7) 年齢を問う設問については、選択肢の1つとして「無回答」を設けていることから、未記入であったものは「不明」と表記し、選択肢としての「無回答」と区別している。

Ⅱ 調査結果（介護保険制度等に関する県民意識調査）

1 属性

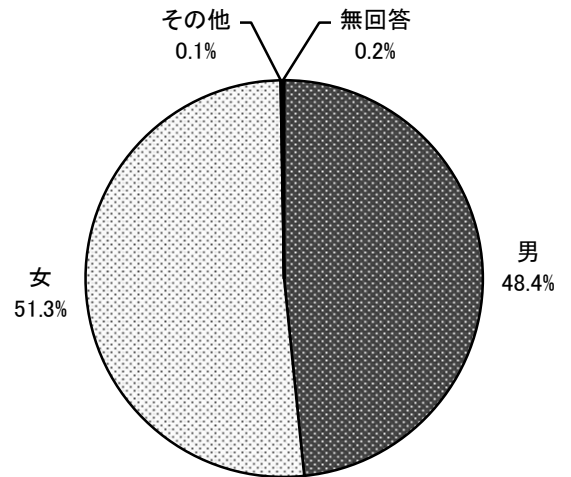
(1) お住まいの保健福祉圏域

(N = 950)



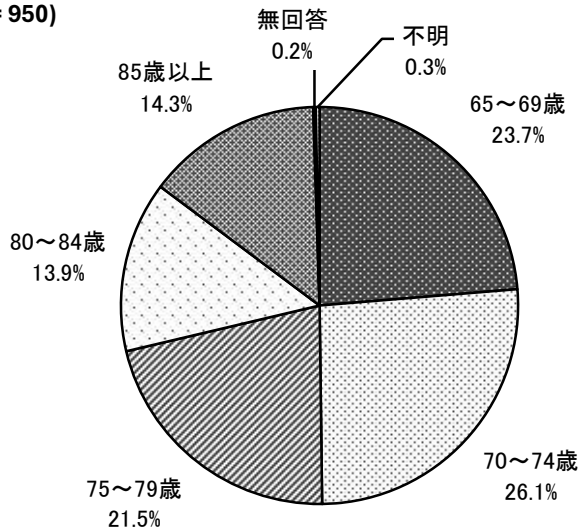
(2) 性別

(N = 950)



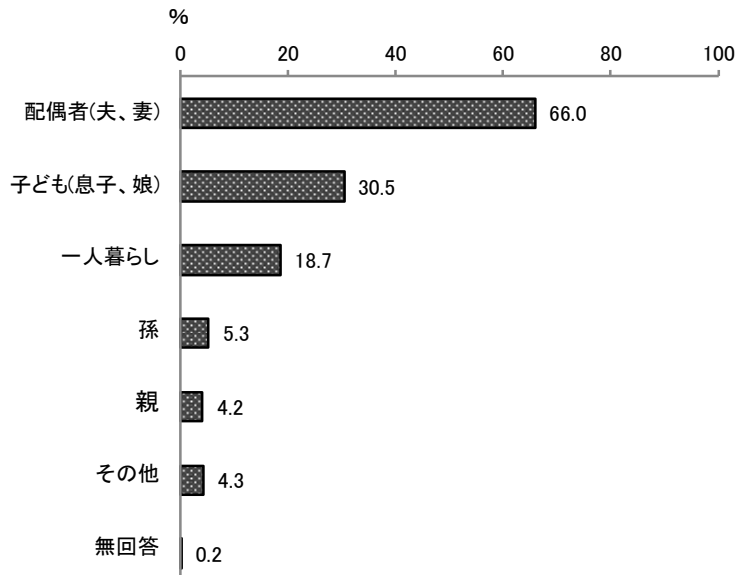
(3) 年齢

(N = 950)



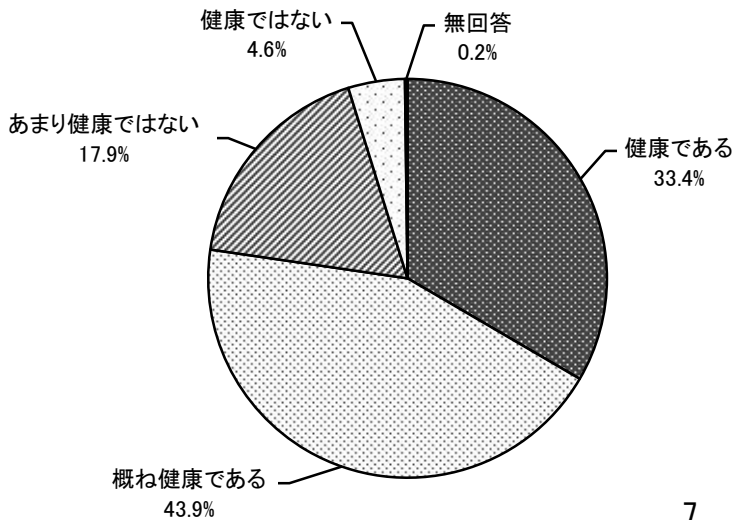
(4) 同居している家族

(N=950)



(5) 健康状態

(N = 950)

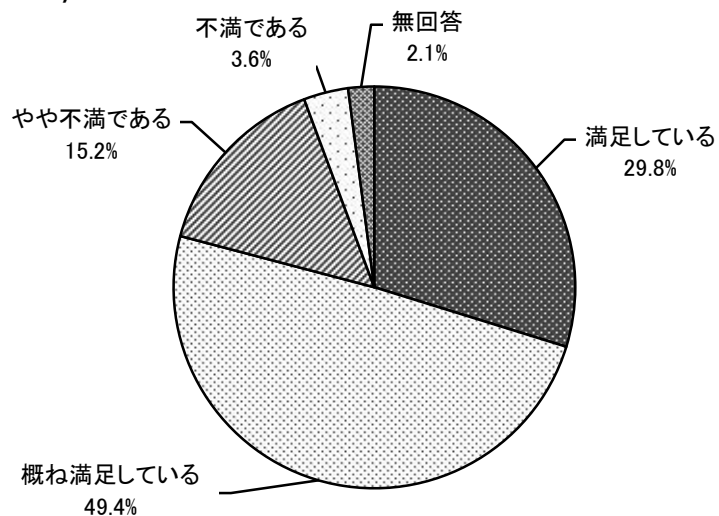


2 日常生活について

(1) 日常生活の満足度

問6 あなたは、自身の日常生活全般について満足していますか。(1つだけに☑)

(N = 950)



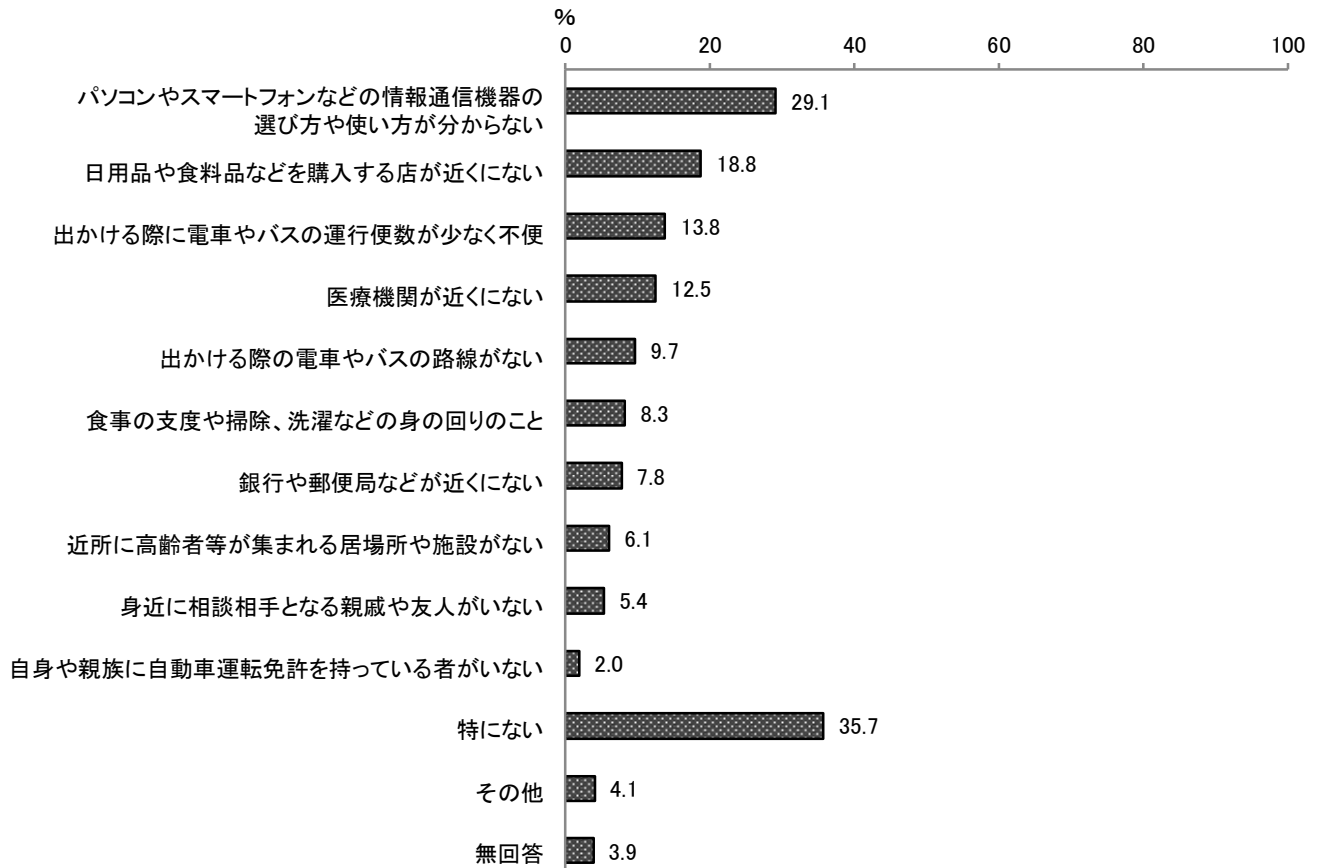
日常生活の満足度は、「概ね満足している」が49.4%で最も多く、「満足している」(29.8%)と合わせた<満足>は79.2%となっている。一方、「やや不満である」(15.2%)、「不満である」(3.6%)を合わせた<不満>は18.8%となっている。

(2) 日常生活の困っていること、不便に感じていること

問7 あなたが日常生活を送っている中で、困っていることや不便に感じていることはありますか。

(3つ以内で☑)

(N=950)



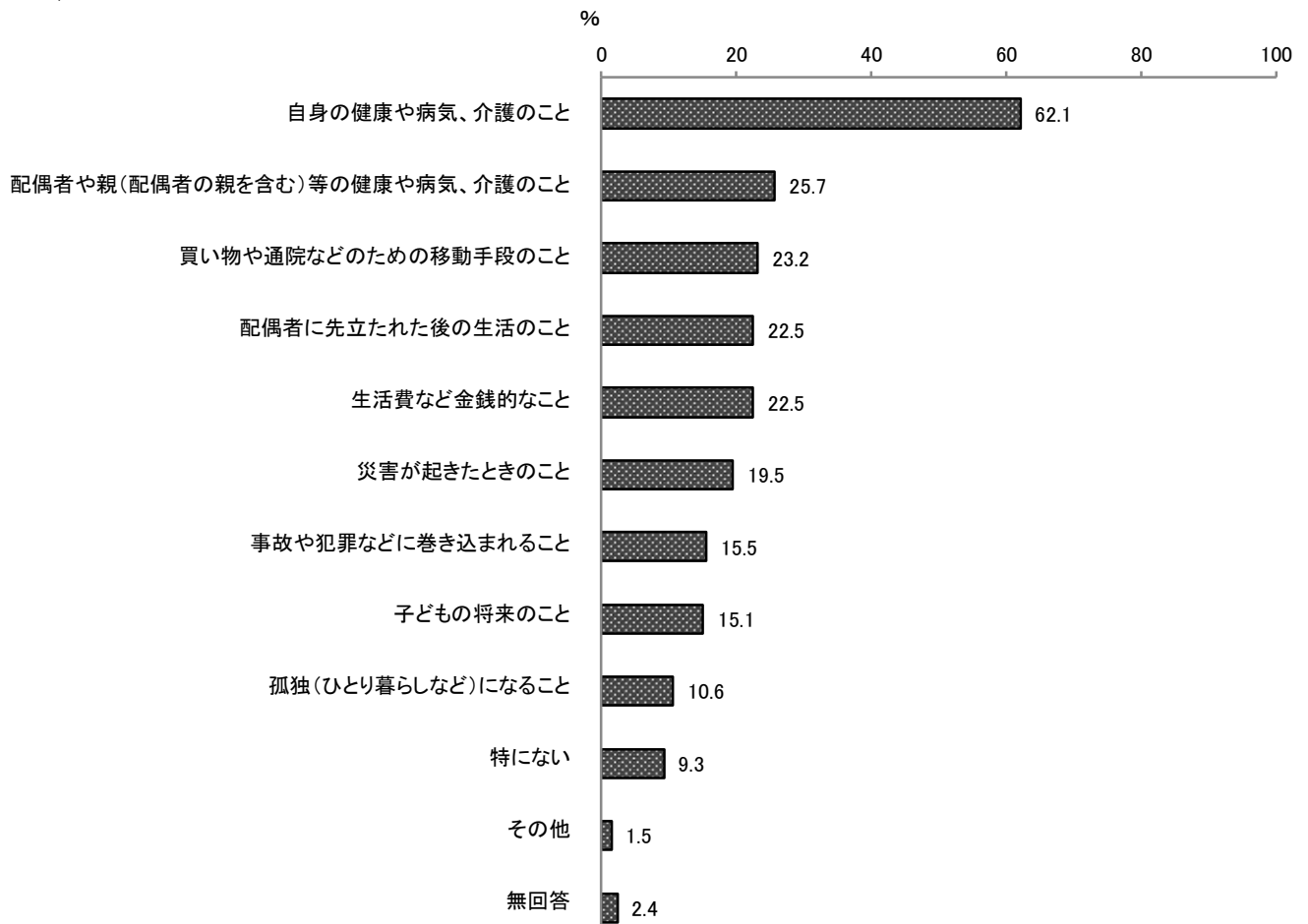
日常生活の困っていること、不便に感じていることについて、「パソコンやスマートフォンなどの情報通信機器の選び方や使い方が分からない」が29.1%で最も多く、次いで「日用品や食料品などを購入する店が近くにない」（18.8%）、「出かける際に電車やバスの運行便数が少なく不便」（13.8%）の順となっている。

一方、「特になし」は35.7%となっている。

(3) 将来の不安や心配事

問8 あなた自身や家族の将来を考えたとき、不安や心配事はありますか。(3つ以内で☑)

(N=950)



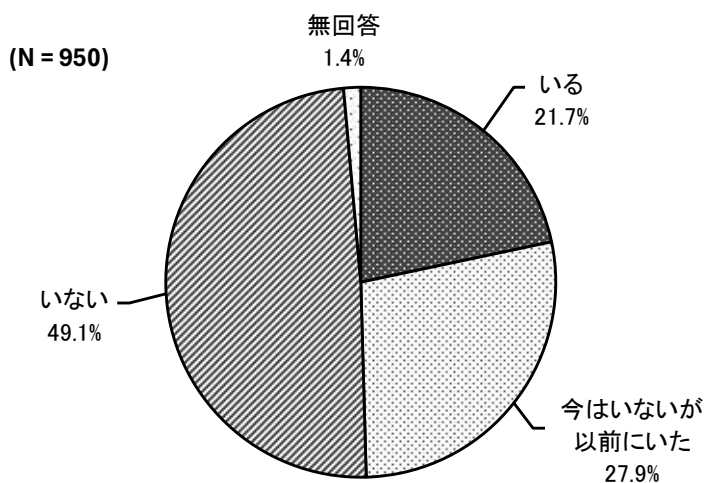
将来の不安や心配事は、「自身の健康や病気、介護のこと」が62.1%で最も多く、次いで「配偶者や親(配偶者の親を含む)等の健康や病気、介護のこと」(25.7%)、「買い物や通院などのための移動手段のこと」(23.2%)の順となっている。

一方、「特にない」は9.3%となっている。

3 介護に関するサービスの利用について

(1) 介護に関するサービスの利用状況

問9 あなたやあなたの「配偶者」、「親（配偶者の親を含む）」、「その他同居の親族」で、介護に関するサービスを利用している（利用していた）方はいますか。（1つだけに☑）

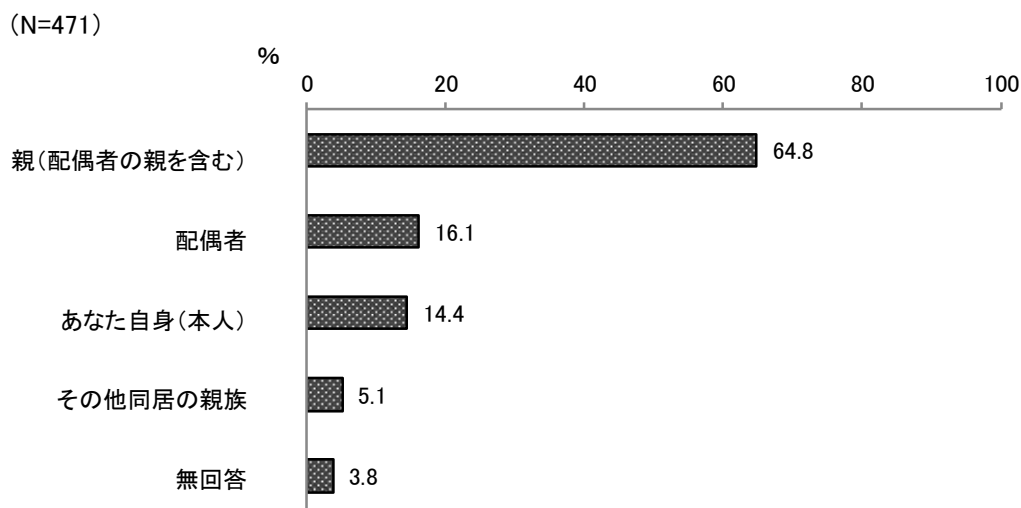


介護に関するサービスの利用状況は、利用している方が「いる」は 21.7%、「今はいないが以前にいた」が27.9%、「いない」が49.1%となっている。

(2) 介護に関するサービス利用者との関係性

【問9で「いる」または「今はいないが以前にいた」と回答】

問9-2 介護に関するサービスを利用している（利用していた）方とあなたの関係を教えてください。（当てはまるもの全てに☑）

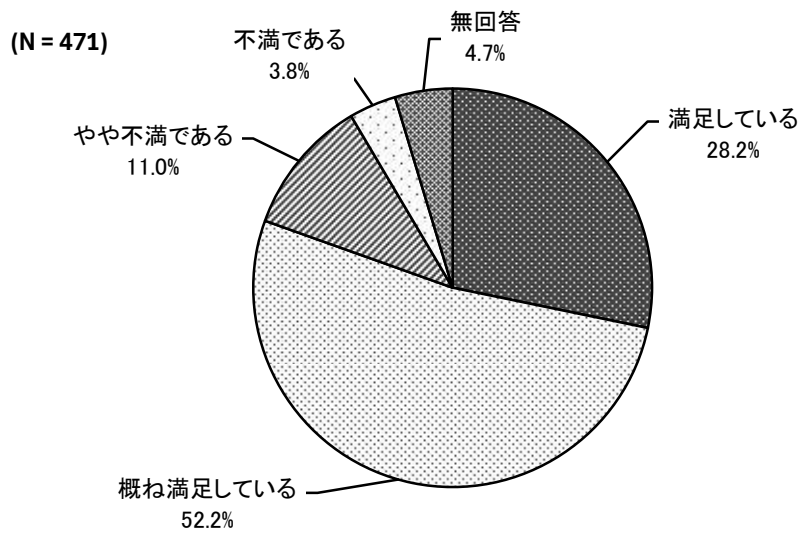


介護に関するサービス利用者との関係性は、「親（配偶者の親を含む）」が64.8%で最も多く、次いで「配偶者」（16.1%）、「あなた自身（本人）」（14.4%）の順となっている。

(3) 利用サービスの満足度

【問9で「いる」または「今はいないが以前にいた」と回答】

問9-3 利用している（利用していた）サービスに対して満足していますか。（1つだけに☑）



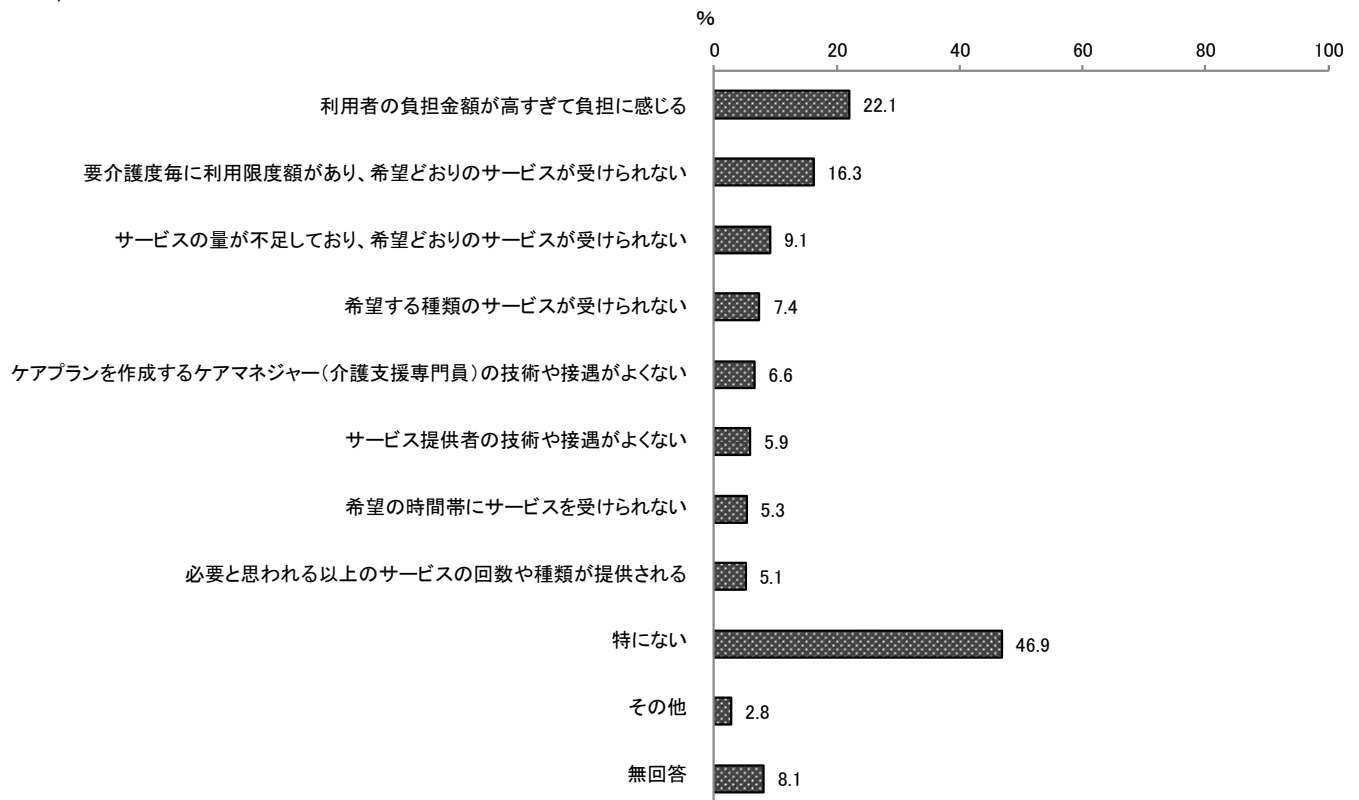
利用サービスの満足度は、「概ね満足している」が52.2%で最も多く、「満足している」（28.2%）と合わせた＜満足＞は80.4%となっている。一方、「やや不満である」（11.0%）、「不満である」（3.8%）を合わせた＜不満＞は14.8%となっている。

(4) 利用サービスにおいて不満に感じること

【問9で「いる」または「今はいないが以前にいた」と回答】

問9-4 サービスを利用して、あなたが不満を感じる（感じた）ことはありますか。
（当てはまるもの全てに☑）

(N=471)



利用サービスにおいて不満に感じることは、「利用者の負担金額が高すぎて負担を感じる」が22.1%で最も多く、次いで「要介護度毎に利用限度額があり、希望どおりのサービスが受けられない」（16.3%）、「サービスの量が不足しており、希望どおりのサービスが受けられない」（9.1%）の順となっている。

一方、「特にない」は46.9%となっている。

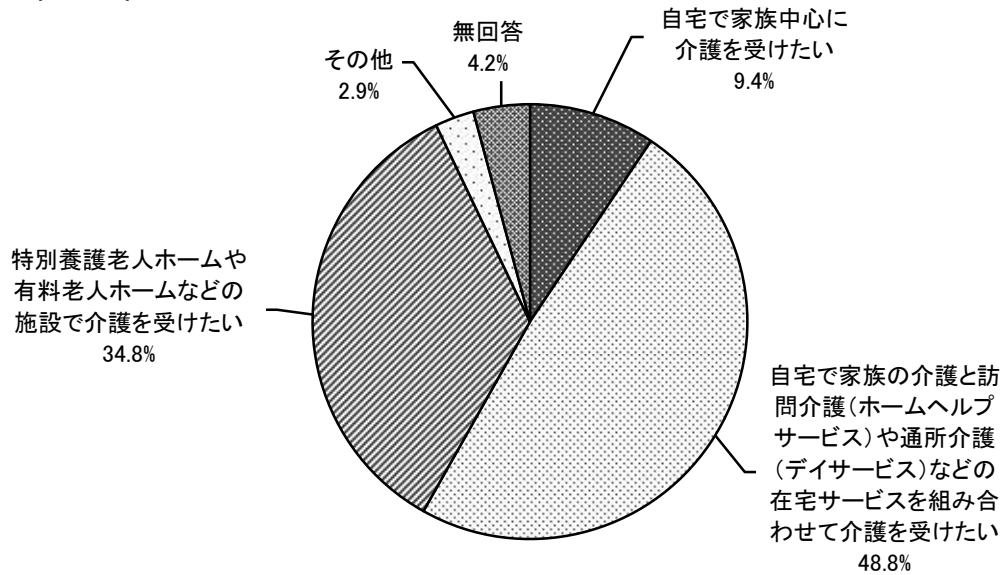
(5) 介護が必要となった場合の希望

【問9-2で「配偶者」、「親（配偶者の親を含む）」または「その他同居の親族」のいずれかを回答】

問9-5 あなたに介護が必要となった場合、どのような介護を受けることを望みますか。

(あなたの考えに最も近いもの1つに☑)

(N = 385)



介護が必要となった場合の希望は、「自宅で家族の介護と訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを組み合わせて介護を受けたい」が48.8%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」（34.8%）、「自宅で家族中心に介護を受けたい」（9.4%）の順となっている。

介護が必要となった場合の希望（保健福祉圏域別）

(%)

	全 体	自 宅 で 家 族 中 心 に 介 護 を 受 け た い	自 宅 で 家 族 の 介 護 と 訪 問 介 護 や 通 所 介 護 な ど の 在 宅 サ ー ビ ス を 組 み 合 わ せ て 介 護 を 受 け た い	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム や 有 料 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 で 介 護 を 受 け た い	そ の 他	無 回 答
全 体	385 100.0	36 9.4	188 48.8	134 34.8	11 2.9	16 4.2
前橋	53 100.0	3 5.7	28 52.8	19 35.8	3 5.7	- -
高崎安中	61 100.0	6 9.8	27 44.3	22 36.1	2 3.3	4 6.6
渋川	27 100.0	4 14.8	10 37.0	12 44.4	- -	1 3.7
藤岡	33 100.0	2 6.1	17 51.5	11 33.3	- -	3 9.1
富岡	35 100.0	1 2.9	21 60.0	11 31.4	- -	2 5.7
吾妻	27 100.0	2 7.4	14 51.9	9 33.3	1 3.7	1 3.7
沼田	29 100.0	4 13.8	11 37.9	13 44.8	1 3.4	- -
伊勢崎	26 100.0	3 11.5	12 46.2	9 34.6	1 3.8	1 3.8
桐生	25 100.0	6 24.0	11 44.0	6 24.0	2 8.0	- -
太田館林	69 100.0	5 7.2	37 53.6	22 31.9	1 1.4	4 5.8

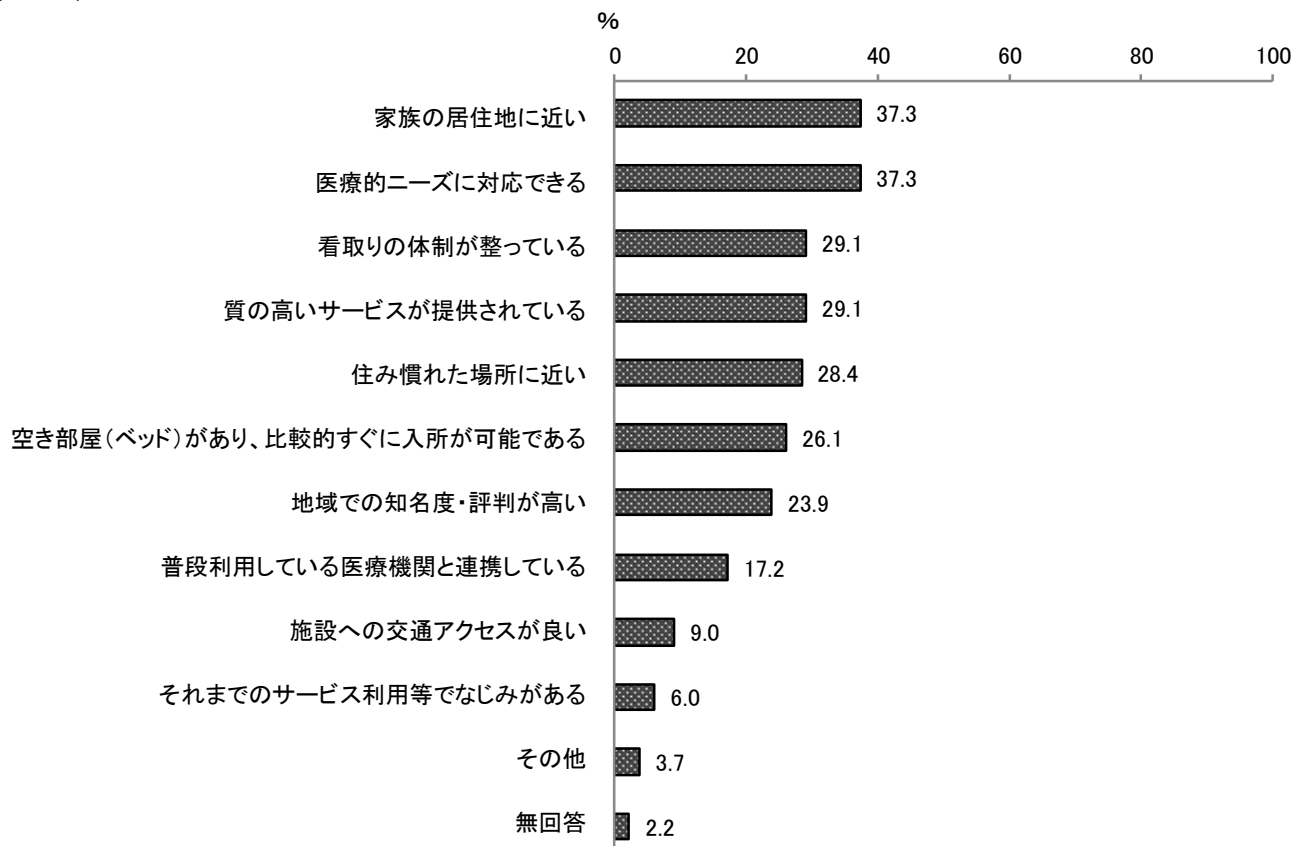
保健福祉圏域別にみると、「自宅で家族中心に介護を受けたい」は桐生圏域で24.0%と特に高い。「自宅で家族の介護と訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを組み合わせて介護を受けたい」は富岡圏域が60.0%と特に高く、渋川圏域（37.0%）、沼田圏域（37.9%）では特に低くなっている。「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」は沼田圏域が44.8%と特に高い一方、桐生圏域では24.0%と特に低くなっている。

(6) 施設を選ぶ際の条件

【問9-5で「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」と回答】

問9-6 施設を選ぶ際に何を考慮するか選んでください。(3つ以内で☑)

(N=134)



施設を選ぶ際の条件は、「家族の居住地に近い」及び「医療的ニーズに対応できる」が37.3%で最も多く、次いで「看取りの体制が整っている」と「質の高いサービスが提供されている」が29.1%、「住み慣れた場所に近い」が28.4%の順となっている。

施設を選ぶ際の条件（保健福祉圏域別）

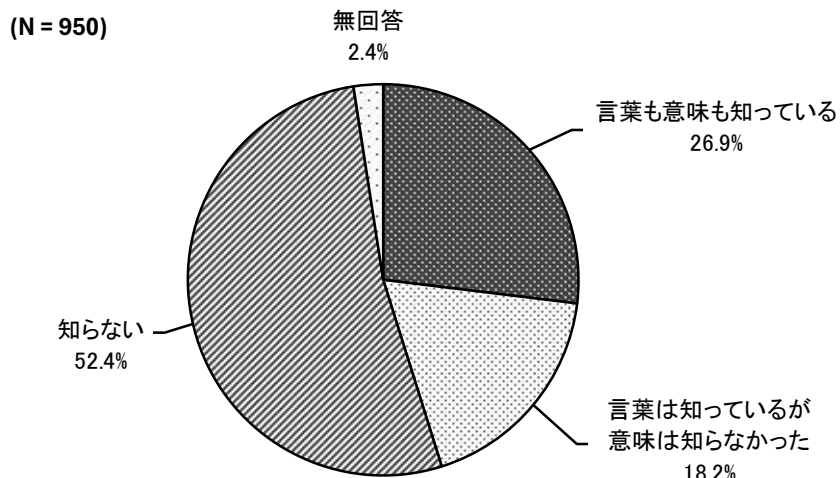
		空き部屋（ベッド）があり、比較的すぐに入所が可能である	住み慣れた場所に近い	家族の居住地に近い	施設への交通アクセスが良い	地域での知名度・評判が高い	それまでのサービス利用等でないみがある	医療的ニーズに対応できる	看取りの体制が整っている	普段利用している医療機関と連携している	質の高いサービスが提供されている	その他	無回答
全体	134 100.0	35 26.1	38 28.4	50 37.3	12 9.0	32 23.9	8 6.0	50 37.3	39 29.1	23 17.2	39 29.1	5 3.7	3 2.2
前橋	19 100.0	7 36.8	5 26.3	8 42.1	3 15.8	5 26.3	1 5.3	9 47.4	6 31.6	4 21.1	2 10.5	1 5.3	-
高崎安中	22 100.0	4 18.2	7 31.8	7 31.8	2 9.1	10 45.5	-	7 31.8	6 27.3	1 4.5	11 50.0	-	-
渋川	12 100.0	1 8.3	4 33.3	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	5 41.7	2 16.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3
藤岡	11 100.0	5 45.5	2 18.2	4 36.4	1 9.1	-	-	2 18.2	4 36.4	3 27.3	3 27.3	1 9.1	1 9.1
富岡	11 100.0	5 45.5	5 45.5	3 27.3	1 9.1	3 27.3	-	4 36.4	1 9.1	2 18.2	3 27.3	1 9.1	-
吾妻	9 100.0	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	1 11.1	-	6 66.7	5 55.6	3 33.3	2 22.2	-	-
沼田	13 100.0	3 23.1	5 38.5	4 30.8	1 7.7	1 7.7	3 23.1	5 38.5	3 23.1	4 30.8	4 30.8	-	1 7.7
伊勢崎	9 100.0	1 11.1	2 22.2	4 44.4	-	1 11.1	-	4 44.4	1 11.1	2 22.2	3 33.3	-	-
桐生	6 100.0	2 33.3	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	-	-
太田館林	22 100.0	5 22.7	5 22.7	13 59.1	-	7 31.8	3 13.6	5 22.7	9 40.9	-	3 13.6	1 4.5	-

保健福祉圏域別にみると、前橋圏域では「空き部屋（ベッド）があり、比較的すぐに入所が可能である」（36.8%）や「医療的ニーズに対応できる」（47.4%）が特に高い。高崎安中圏域では「地域での知名度・評判が高い」（45.5%）や「質の高いサービスが提供されている」（50.0%）が特に高く、太田館林圏域では「家族の居住地に近い」（59.1%）や「看取りの体制が整っている」（40.9%）が特に高い。

4 介護予防について

(1) 「フレイル」の認知度

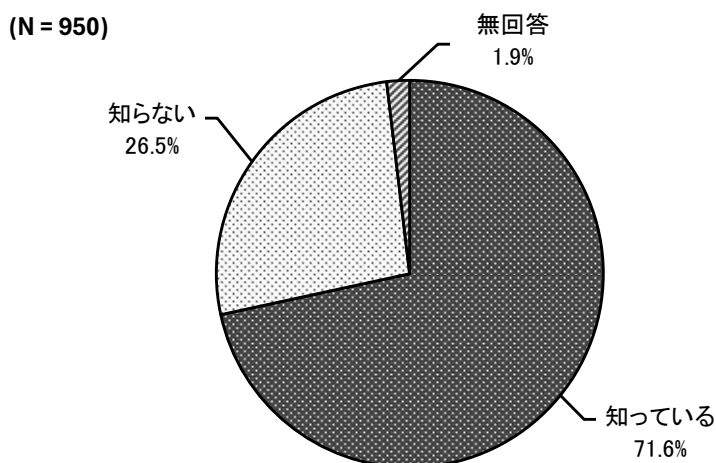
問10 「フレイル」という言葉を知っていますか。(1つだけに☑)



「フレイル」の認知度は、「言葉も意味も知っている」が26.9%、「言葉は知っているが意味は知らなかった」が18.2%、「知らない」が52.4%となっている。

(2) 介護予防方法の認知度

問11 週1回以上、1時間ほどのゆっくりとした体操により足の筋肉などを鍛えると、介護予防に大きな効果があることを知っていますか。(1つだけに☑)

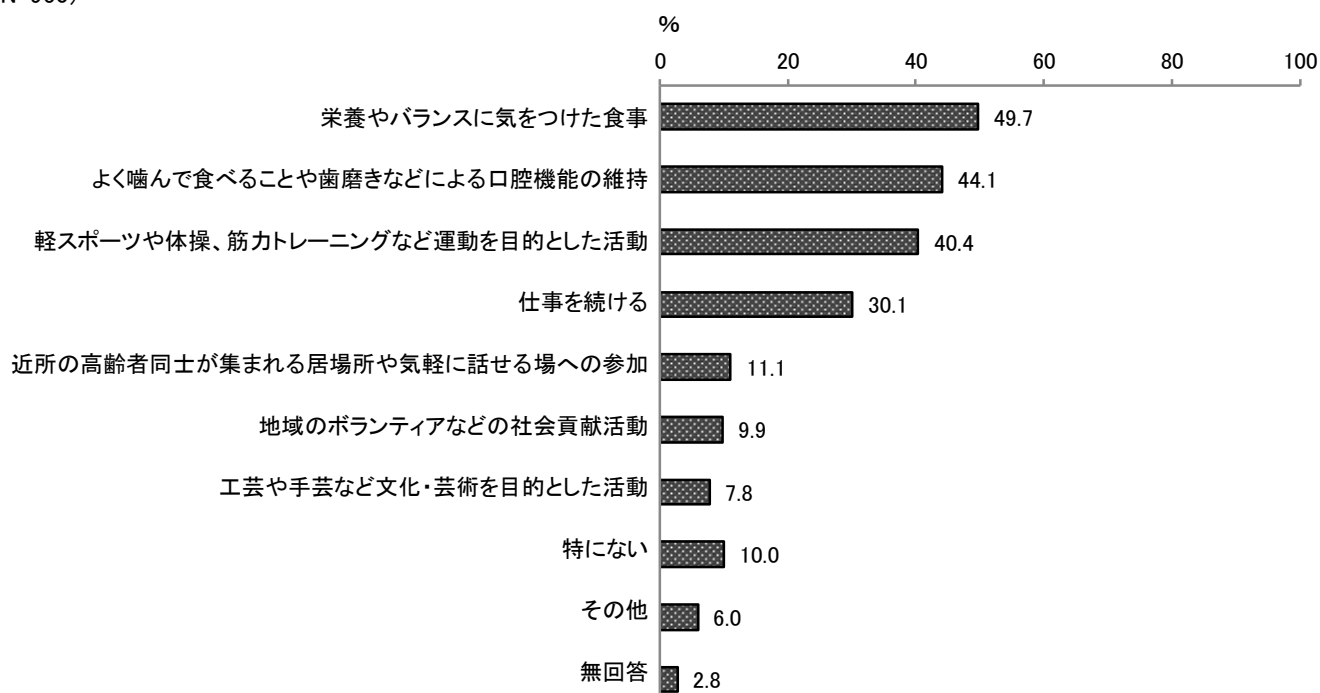


介護予防方法の認知度は、週1回以上、1時間ほどのゆっくりとした体操により足の筋肉などを鍛えると、介護予防に大きな効果があることについて、「知っている」が71.6%、「知らない」が26.5%となっている。

(3) 介護予防の取り組み

問12 あなたが、今後介護を必要とする状態にならないために（状態が悪くならないために）取り組んでいることはありますか。（3つ以内で☑）

(N=950)



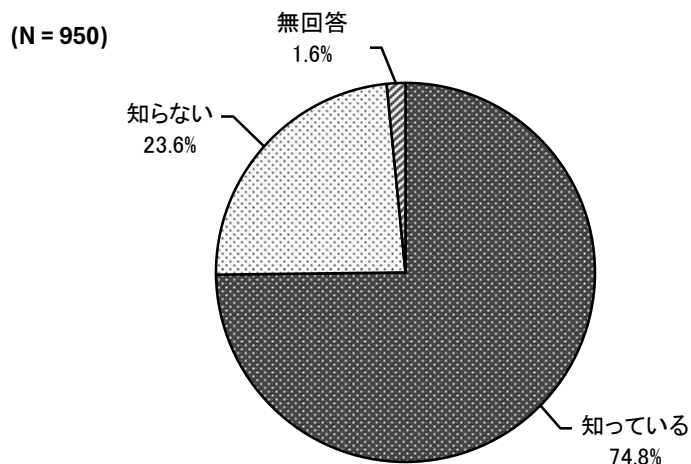
介護予防の取り組みは、「栄養やバランスに気をつけた食事」が49.7%で最も多く、次いで「よく噛んで食べることや歯磨きなどによる口腔機能の維持」（44.1%）、「軽スポーツや体操、筋力トレーニングなど運動を目的とした活動」（40.4%）の順となっている。

一方、「特にない」は10.0%となっている。

5 介護保険料について

(1) 介護保険料について

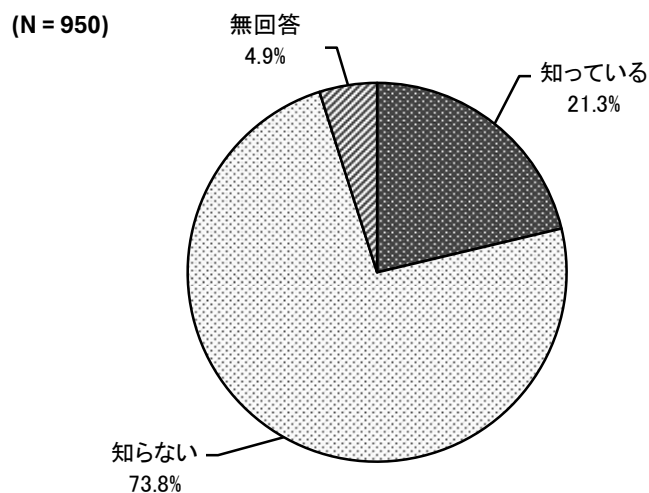
問13 あなたが市町村に納めている介護保険料が概ねいくらか知っていますか。(1つだけに☑)



自身が市町村に納めている介護保険料の金額について、「知っている」が74.8%、「知らない」が23.6%となっている。

(2) 介護サービスの利用料

問14 介護保険サービスを利用している（利用する）場合、月々の利用料（自己負担額）を知っていますか。(1つだけに☑)



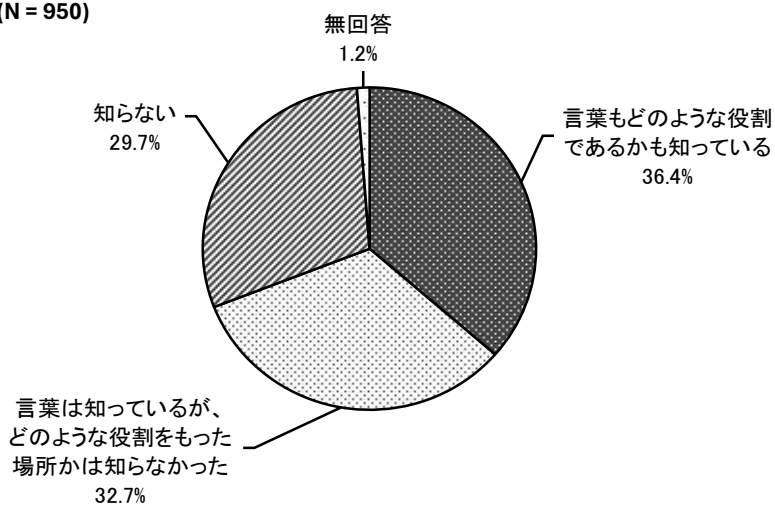
自身が介護サービスを利用している（利用する）場合の月々の利用料について、「知っている」が21.3%、「知らない」が73.8%となっている。

6 地域包括支援センターについて

(1) 「地域包括支援センター」の認知度

問15 あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけに☑)

(N = 950)



「地域包括支援センター」の認知度は、「言葉もどのような役割であるかも知っている」が36.4%、「言葉は知っているが、どのような役割をもった場所かは知らなかった」が32.7%、「知らない」が29.7%となっている。

「地域包括支援センター」の認知度〈保健福祉圏域別〉

(%)

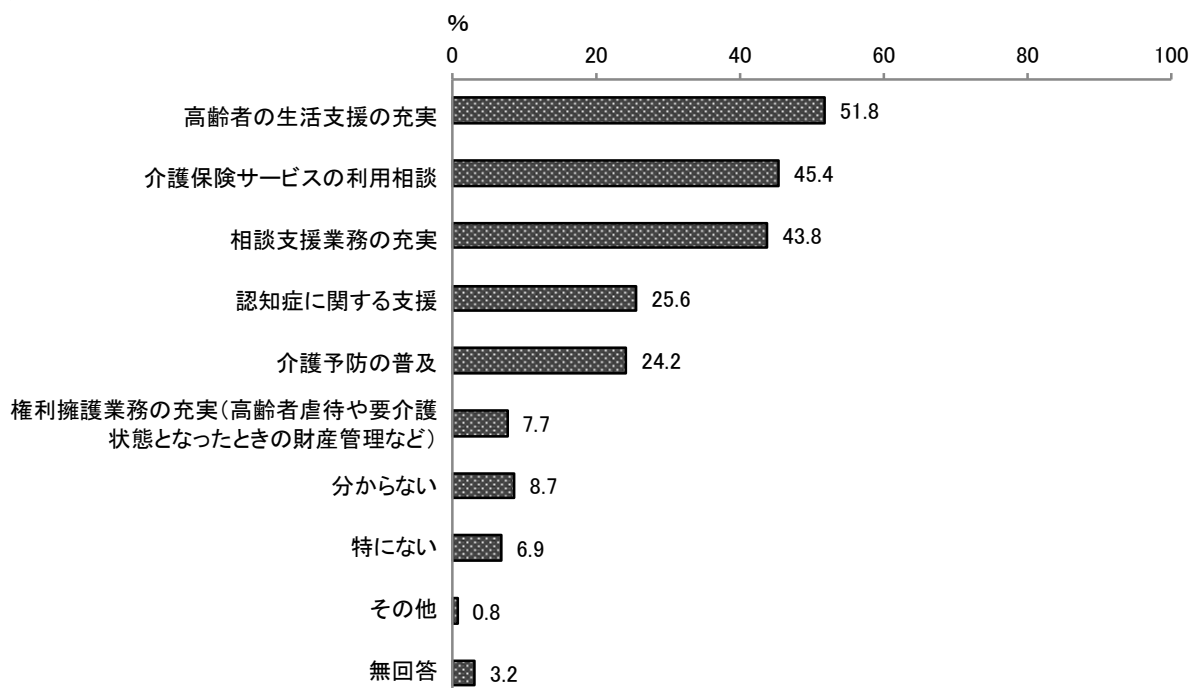
	全 体	言葉もど のような 役割であ るかも 知っている	言葉は知 っている が、どの ようなか つた 役割をも つた場所 かは知ら なかつた	知らない	無 回 答
全 体	950 100.0	346 36.4	311 32.7	282 29.7	11 1.2
前橋	120 100.0	51 42.5	38 31.7	30 25.0	1 0.8
高崎安中	160 100.0	51 31.9	58 36.3	50 31.3	1 0.6
渋川	66 100.0	29 43.9	21 31.8	14 21.2	2 3.0
藤岡	62 100.0	24 38.7	21 33.9	16 25.8	1 1.6
富岡	76 100.0	26 34.2	27 35.5	22 28.9	1 1.3
吾妻	71 100.0	30 42.3	23 32.4	18 25.4	- -
沼田	74 100.0	28 37.8	23 31.1	22 29.7	1 1.4
伊勢崎	71 100.0	23 32.4	22 31.0	26 36.6	- -
桐生	74 100.0	23 31.1	25 33.8	26 35.1	- -
太田館林	176 100.0	61 34.7	53 30.1	58 33.0	4 2.3

保健福祉圏域別にみると、「言葉もどのような役割であるかも知っている」は渋川圏域（43.9%）や前橋圏域（42.5%）、吾妻圏域（42.3%）で高い。一方、「知らない」は伊勢崎圏域（36.6%）や桐生圏域（35.1%）で高い。

(2) 地域包括支援センターに期待すること

問16 高齢者の皆さんをさまざまな面から支える地域包括支援センターにどのようなことを期待しますか。(3つ以内で☑)

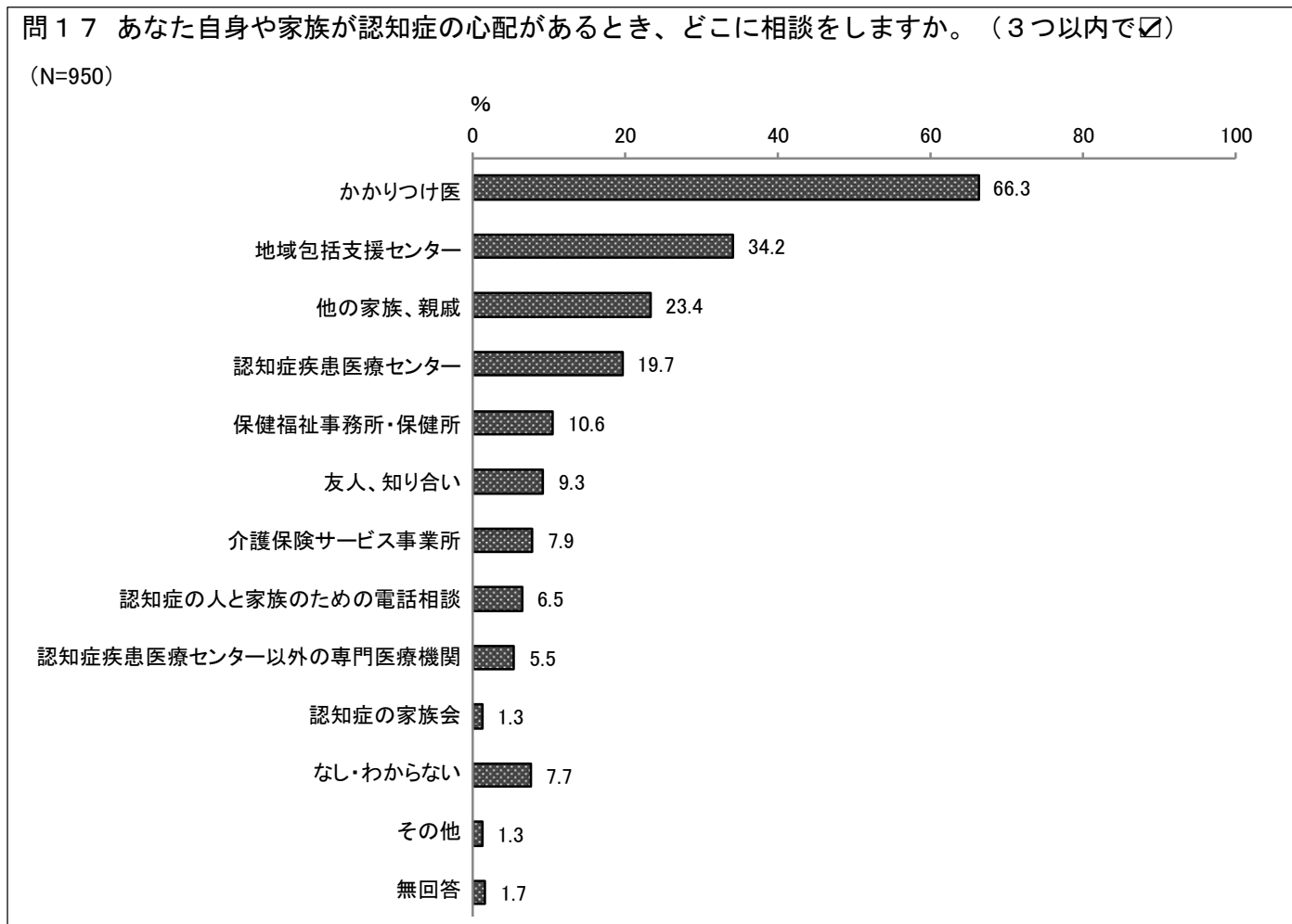
(N=950)



地域包括支援センターに期待することは、「高齢者の生活支援の充実」が51.8%で最も多く、次いで「介護保険サービスの利用相談」(45.4%)、「相談支援業務の充実」(43.8%)の順となっている。一方、「分からない」は8.7%、「特にない」は6.9%となっている。

7 認知症について

(1) 認知症についての相談場所



認知症についての相談場所は、「かかりつけ医」が66.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(34.2%)、「他の家族、親戚」(23.4%)の順となっている。

一方、「なし・わからない」は7.7%となっている。

認知症についての相談場所〈保健福祉圏域別〉

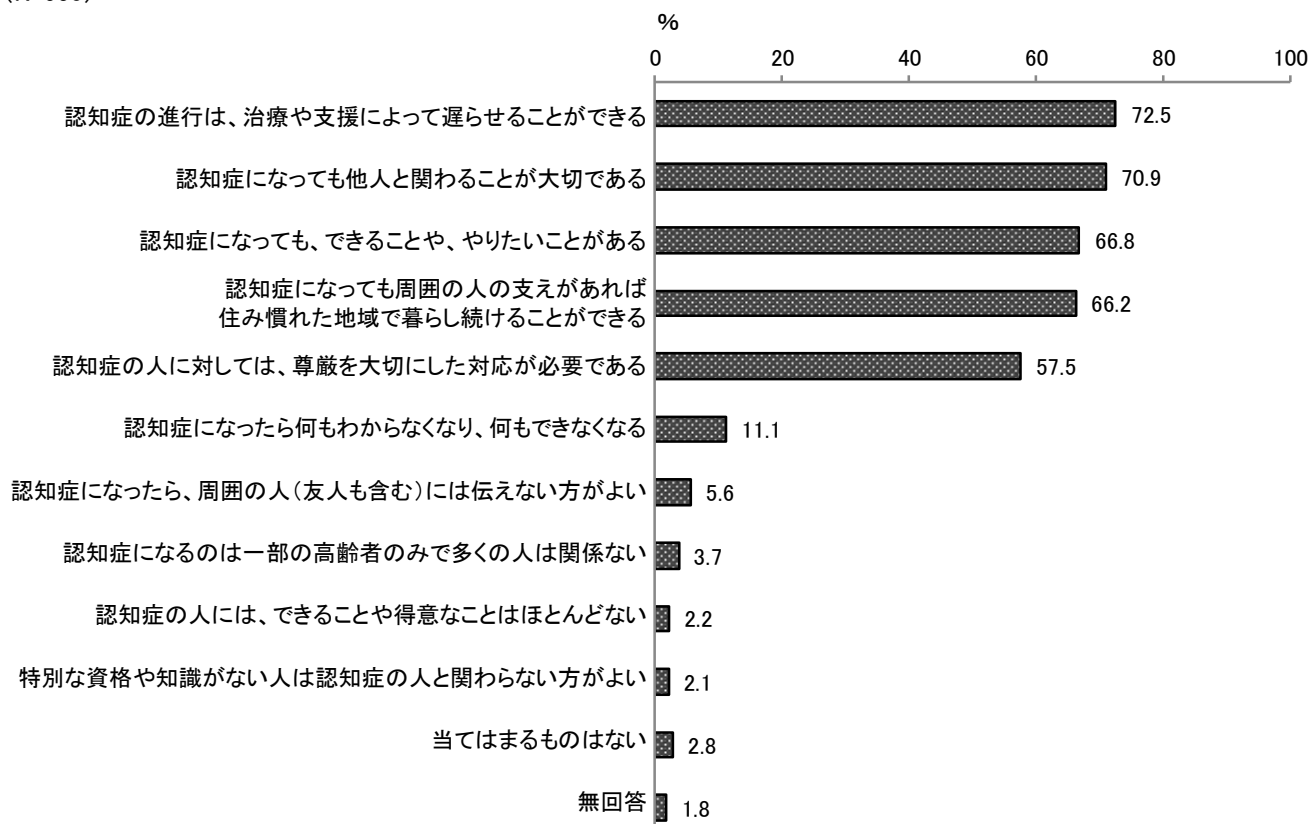
		かかりつけ医	認知症疾患医療センター	認知症疾患医療センター以外の専門医療機関	地域包括支援センター	保健福祉事務所・保健所	介護保険サービス事業所	認知症の人と家族のための電話相談	他の家族、親戚	友人、知り合い	認知症の家族会	なし・わからない	その他	無回答	
	全体	950 100.0	630 66.3	187 19.7	52 5.5	325 34.2	101 10.6	75 7.9	62 6.5	222 23.4	88 9.3	12 1.3	73 7.7	12 1.3	16 1.7
前橋		120 100.0	78 65.0	31 25.8	7 5.8	40 33.3	10 8.3	4 3.3	9 7.5	23 19.2	11 9.2	1 0.8	12 10.0	2 1.7	2 1.7
高崎安中		160 100.0	107 66.9	33 20.6	8 5.0	40 25.0	20 12.5	15 9.4	12 7.5	49 30.6	16 10.0	1 0.6	14 8.8	1 0.6	2 1.3
渋川		66 100.0	45 68.2	14 21.2	8 12.1	27 40.9	5 7.6	7 10.6	6 9.1	14 21.2	3 4.5	-	5 7.6	1 1.5	2 3.0
藤岡		62 100.0	45 72.6	14 22.6	2 3.2	26 41.9	10 16.1	3 4.8	2 3.2	11 17.7	5 8.1	1 1.6	3 4.8	-	1 1.6
富岡		76 100.0	49 64.5	17 22.4	6 7.9	30 39.5	8 10.5	1 1.3	3 3.9	20 26.3	10 13.2	3 3.9	5 6.6	1 1.3	1 1.3
吾妻		71 100.0	43 60.6	20 28.2	3 4.2	34 47.9	11 15.5	4 5.6	5 7.0	15 21.1	7 9.9	3 4.2	4 5.6	2 2.8	1 1.4
沼田		74 100.0	51 68.9	7 9.5	4 5.4	30 40.5	9 12.2	8 10.8	4 5.4	17 23.0	4 5.4	1 1.4	5 6.8	1 1.4	1 1.4
伊勢崎		71 100.0	49 69.0	6 8.5	2 2.8	24 33.8	7 9.9	11 15.5	4 5.6	12 16.9	8 11.3	-	6 8.5	2 2.8	1 1.4
桐生		74 100.0	55 74.3	14 18.9	3 4.1	18 24.3	6 8.1	5 6.8	7 9.5	20 27.0	8 10.8	-	5 6.8	-	-
太田館林		176 100.0	108 61.4	31 17.6	9 5.1	56 31.8	15 8.5	17 9.7	10 5.7	41 23.3	16 9.1	2 1.1	14 8.0	2 1.1	5 2.8

保健福祉圏域別にみると、「地域包括支援センター」は吾妻圏域が47.9%と特に高くなっている。また、「認知症疾患医療センター」は伊勢崎圏域（8.5%）や沼田圏域（9.5%）で特に低くなっている。

(2) 「認知症」や「認知症の人」に関して、「そう思う」もの

問18 あなたが「認知症」や「認知症の人」に関して、「そう思う」ものを全て選んでください。
(当てはまるもの全てに☑)

(N=950)

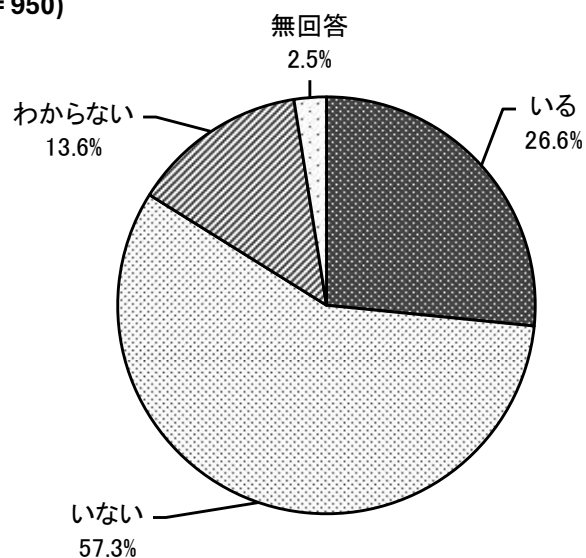


「認知症」や「認知症の人」に関して、「そう思う」ものについて、「認知症の進行は、治療や支援によって遅らせることができる」が72.5%で最も多く、次いで「認知症になっても他人と関わるのが大切である」(70.9%)、「認知症になっても、できることや、やりたいことがある」(66.8%)の順となっている。なお、「認知症になっても周囲の人の支えがあれば住み慣れた地域で暮らし続けることができる」、「認知症の人に対しては、尊厳を大切にされた対応が必要である」も過半数を占めている。一方、「当てはまるものはない」は2.8%となっている。

(3) 身近な人における認知症の有無

問19 あなたの身近（家族、友人、知人）に認知症の人がいますか。（1つだけに☑）

(N = 950)



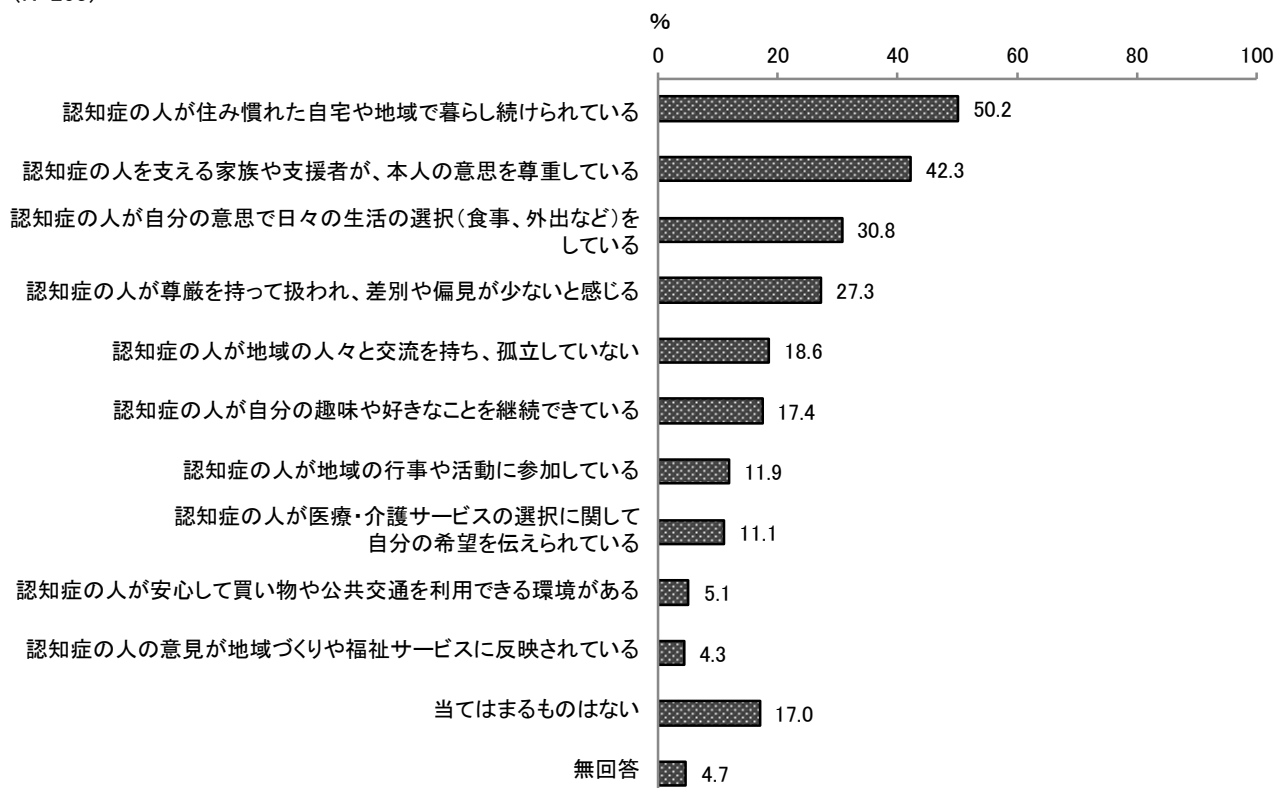
身近な人における認知症の有無について、「いる」が26.6%、「いない」が57.3%、「わからない」が13.6%となっている。

(4) 身の回りの認知症の人の状況について

【問19で「いる」と回答】

問19-2 あなたの身の回りの認知症の人の状況について、近いと思われる内容を全て選んでください。
(当てはまるもの全てに☑)

(N=253)



身の回りの認知症の人の状況について、近いと思われる内容は、「認知症の人が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられている」が50.2%で最も多く、次いで「認知症の人を支える家族や支援者が、本人の意思を尊重している」(42.3%)、「認知症の人が自分の意思で日々の生活の選択(食事、外出など)をしている」(30.8%)の順となっている。

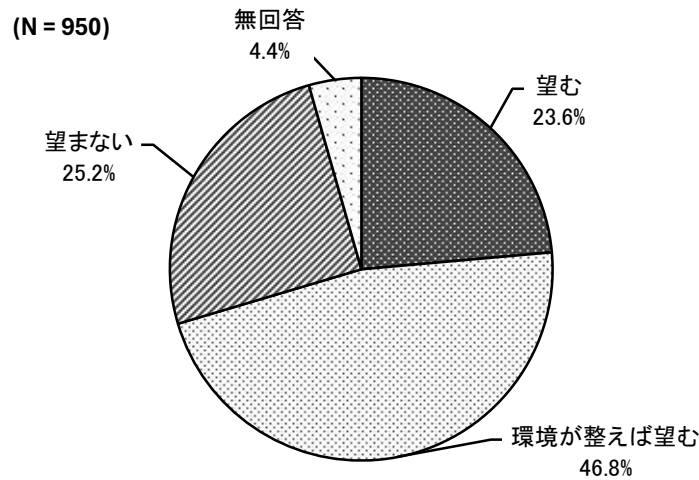
一方、「当てはまるものはない」は17.0%となっている。

8 在宅医療・介護について

(1) 在宅療養の希望について

問20 もし、あなたが治療や療養を必要とする場合、自宅での療養を望みますか。

(1つだけに☑)



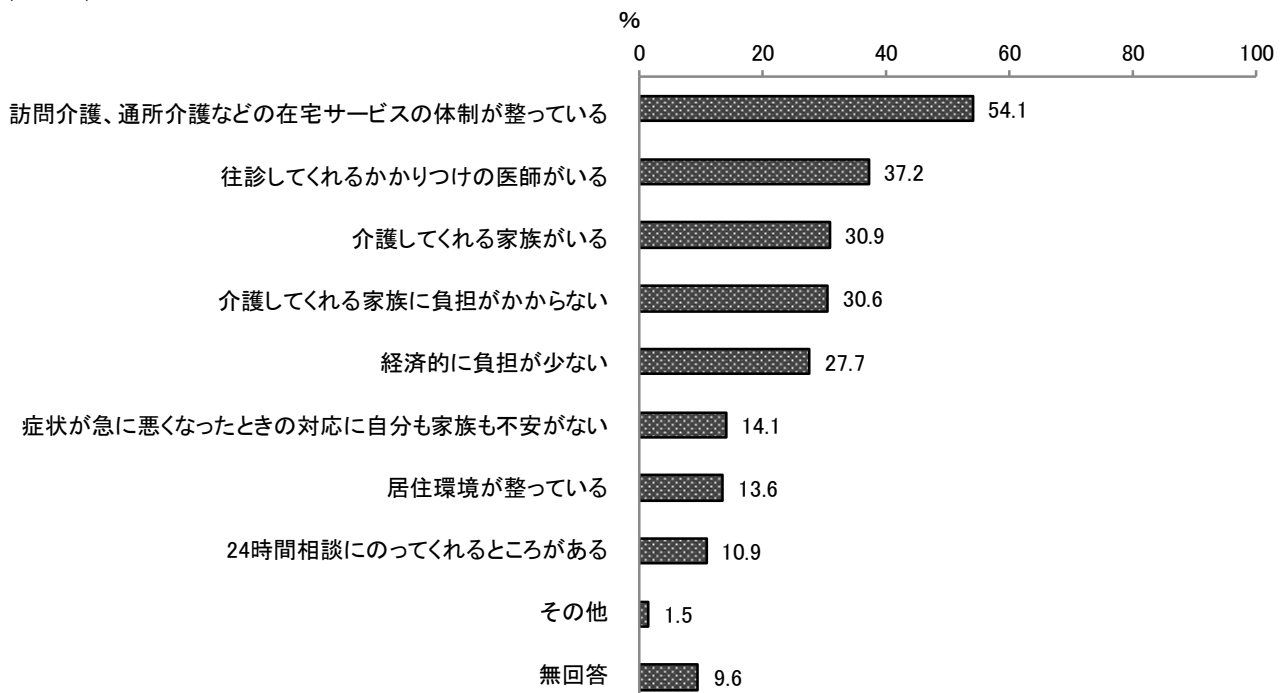
自宅療養の希望について、「望む」が23.6%、「環境を整えば望む」が46.8%、「望まない」が25.2%となっている。

(2) 在宅療養にあたって必要な環境

【問20で「望む」または「環境を整えば望む」と回答】

問20-2 自宅療養を行うにあたって必要な環境は何ですか。(3つ以内で☑)

(N=669)

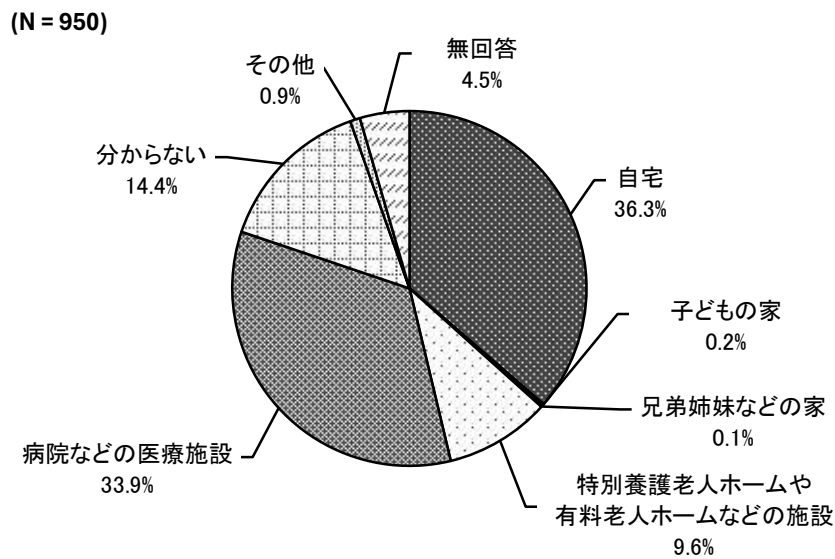


自宅療養にあたって必要な環境は、「訪問介護、通所介護などの在宅サービスの体制が整っている」が54.1%で最も高く、次いで「往診してくれるかかりつけの医師がいる」(37.2%)、「介護してくれる家族がいる」(30.9%)の順となっている。

9 人生最終段階の医療・ケアについて

(1) 最期を過ごしたい場所について

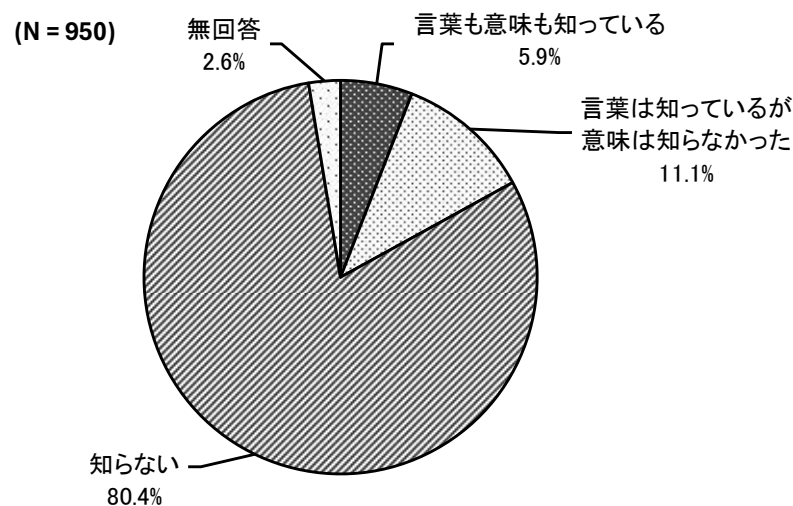
問 2 1 もし、あなたが治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を過ごしたいですか。
(1つだけに☑)



最期を過ごしたい場所について、「自宅」が36.3%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」(33.9%)、「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設」(9.6%)の順となっている。一方、「分からない」は14.4%となっている。

(2) 「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」の認知度

問 2 2 あなたは「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」という言葉を知っていますか。
(1つだけに☑)



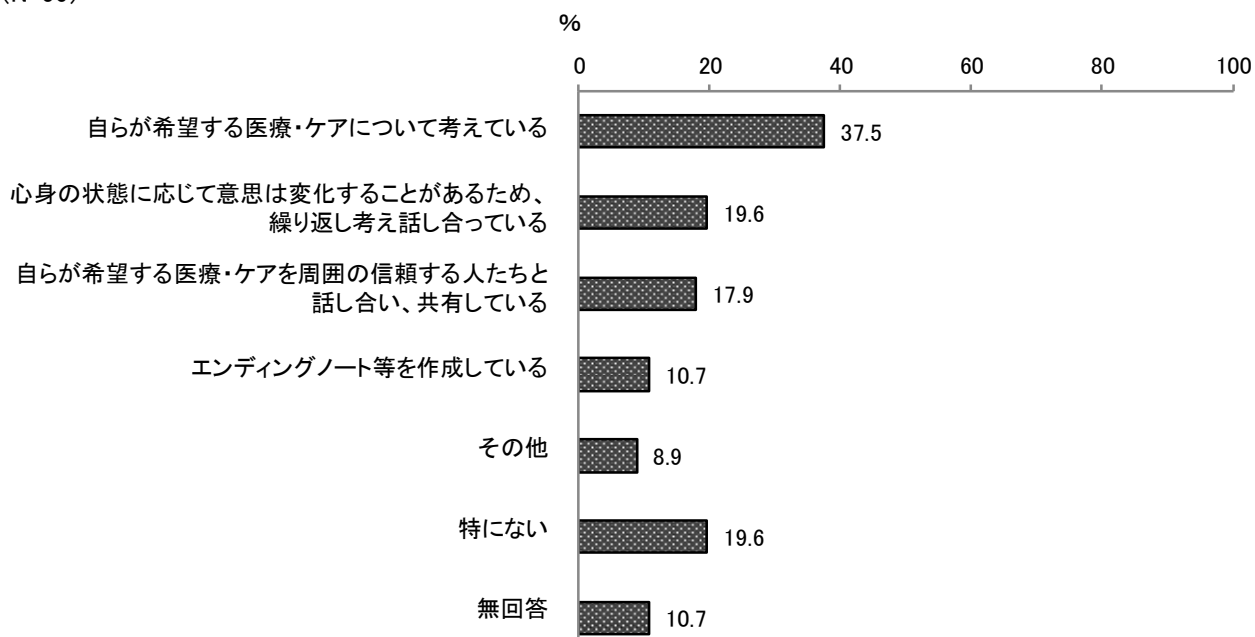
「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」の認知度は、「言葉も意味も知っている」が5.9%、「言葉は知っているが意味は知らなかった」が11.1%、「知らない」が80.4%となっている。

(3) 「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」の取り組み

【問22で「言葉も意味も知っている」と回答】

問22-2 「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」について、あなたが取り組んでいることはありますか。（当てはまるもの全てに☑）

(N=56)



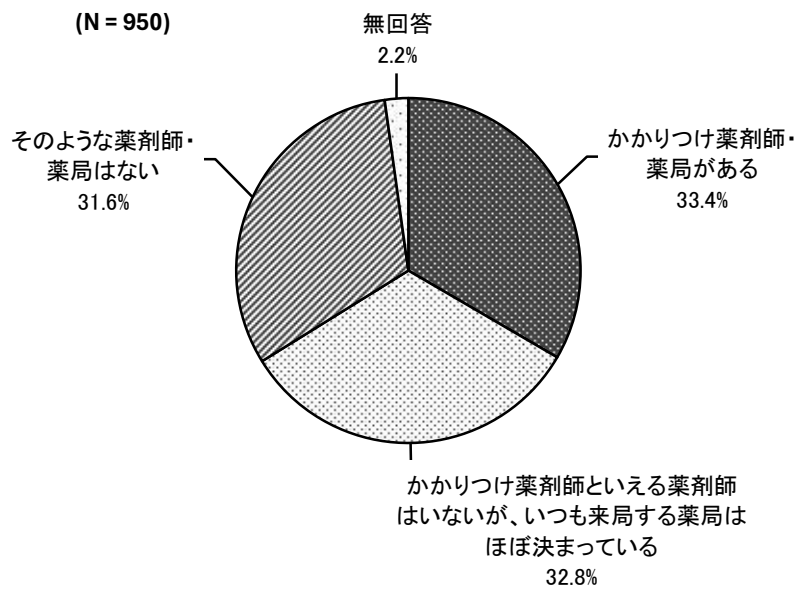
「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」の取り組みについては、「自らが希望する医療・ケアについて考えている」が37.5%で最も多く、次いで「心身の状態に応じて意思は変化することがあるため、繰り返し考え話し合っている」（19.6%）、「自らが希望する医療・ケアを周囲の信頼する人たちと話し合い、共有している」（17.9%）の順となっている。

一方、「特にない」は19.6%となっている。

10 薬局について

(1) 「かかりつけ薬剤師・薬局」の有無

問23 あなたには、普段の健康状態や薬のことを相談できる「かかりつけ薬剤師・薬局」がありますか。
(1つだけに☑)

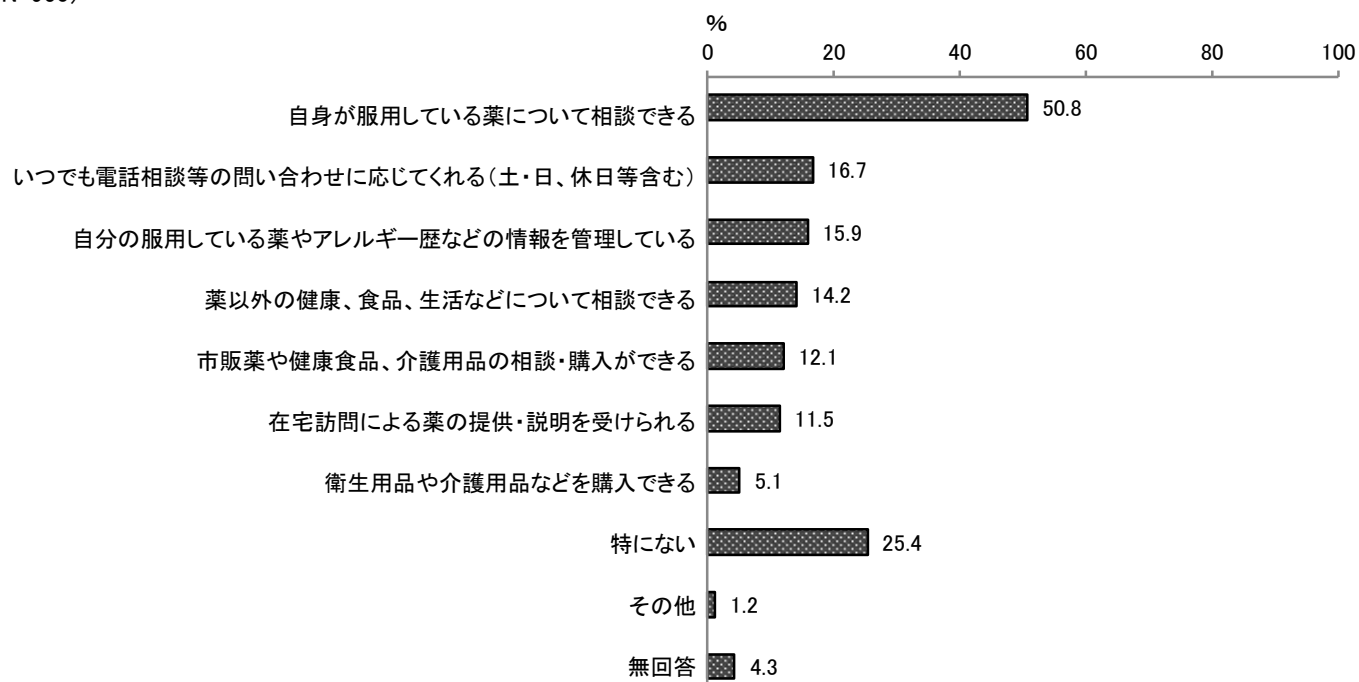


「かかりつけ薬剤師・薬局」の有無について、「かかりつけ薬剤師・薬局がある」が33.4%、「かかりつけ薬剤師といえる薬剤師はいないが、いつも来局する薬局はほぼ決まっている」が32.8%、「そのような薬剤師・薬局はない」が31.6%となっている。

(2) 今後、薬局に期待すること

問24 今後、薬局にどのようなことを期待しますか。(3つ以内で☑)

(N=950)



今後、薬局に期待することは、「自身が服用している薬について相談できる」が50.8%で最も多く、次いで「いつでも電話相談等の問い合わせに応じてくれる(土・日、休日等含む)」(16.7%)、「自分の服用している薬やアレルギー歴などの情報を管理している」(15.9%)の順となっている。

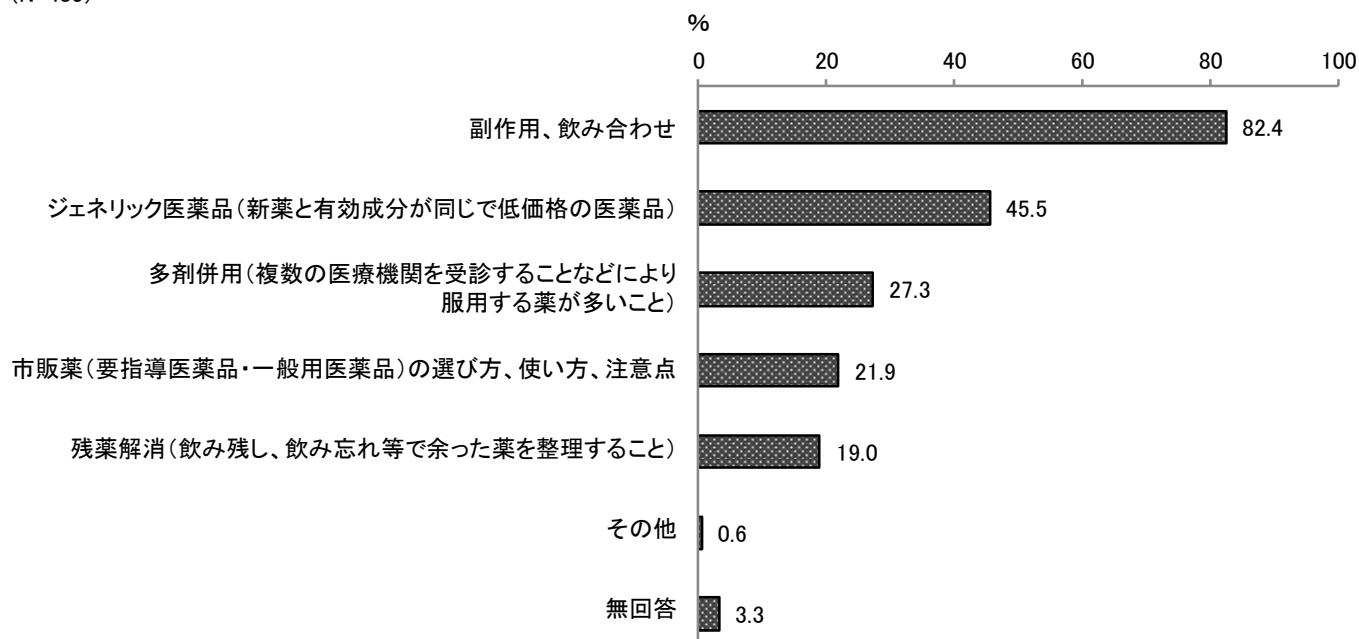
一方、「特にない」は25.4%となっている。

(3) 薬について相談したいこと

【問24で「薬について相談できる」と回答】

問24-2 薬のどんなことをお聞きしたいですか。(3つ以内で☑)

(N=483)



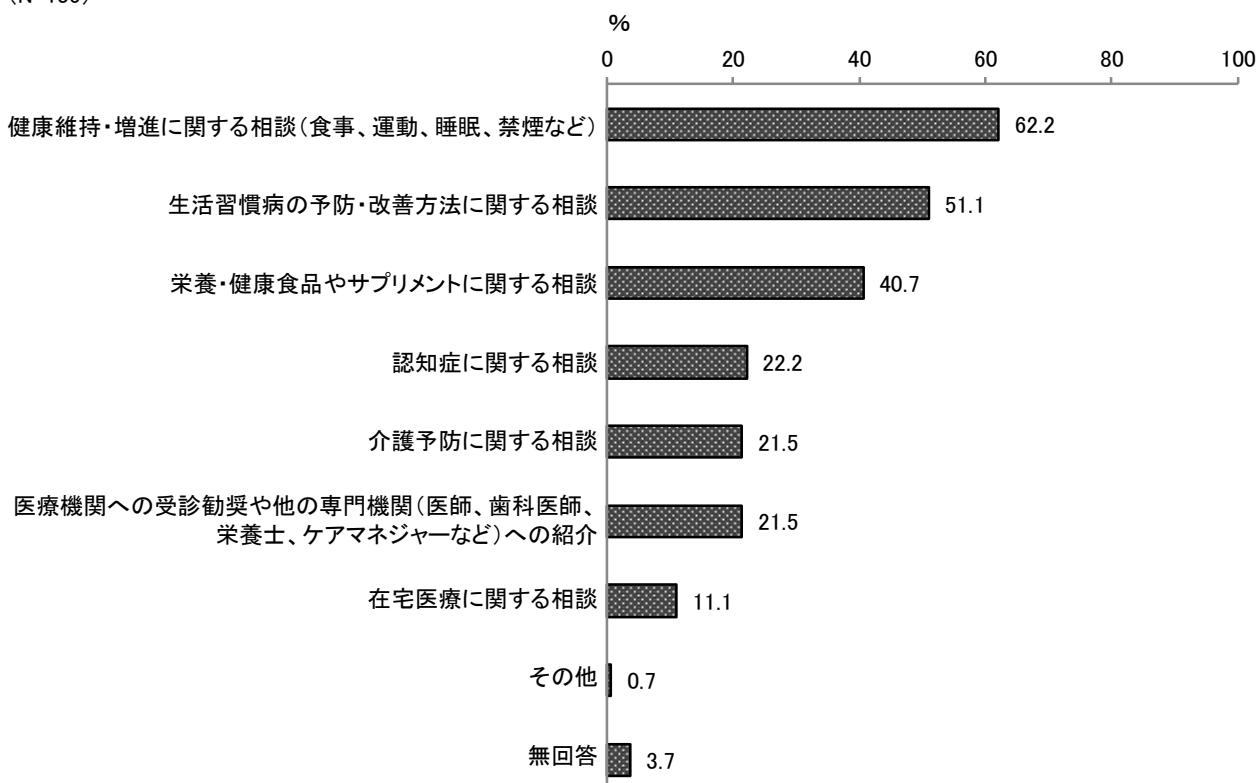
薬について相談したいことは、「副作用、飲み合わせ」が82.4%で最も多く、次いで「ジェネリック医薬品(新薬と有効成分が同じで低価格の医薬品)」(45.5%)、「多剤併用(複数の医療機関を受診することなどにより服用する薬が多いこと)」(27.3%)の順となっている。

(4) 薬以外の健康、食品、生活などについて相談したいこと

【問24で「薬以外の健康、食品、生活などについて相談できる」と回答】

問24-3 薬以外の健康、食品、生活に関することで、今後、薬局にぜひ対応してもらいたい相談内容は何か。(3つ以内で☑)

(N=135)



薬以外の健康、食品、生活などについて相談したいことは、「健康維持・増進に関する相談(食事、運動、睡眠、禁煙など)」が62.2%で最も多く、次いで「生活習慣病の予防・改善方法に関する相談」(51.1%)、「栄養・健康食品やサプリメントに関する相談」(40.7%)の順となっている。

11 その他

介護保険制度や高齢社会に関して感じていること、ご意見・ご要望

問25 あなたが日頃、介護保険制度や高齢社会に関し感じていることやご意見・ご要望などがありましたら自由に記入してください。（自由記述）

■具体的なご意見（一部抜粋）

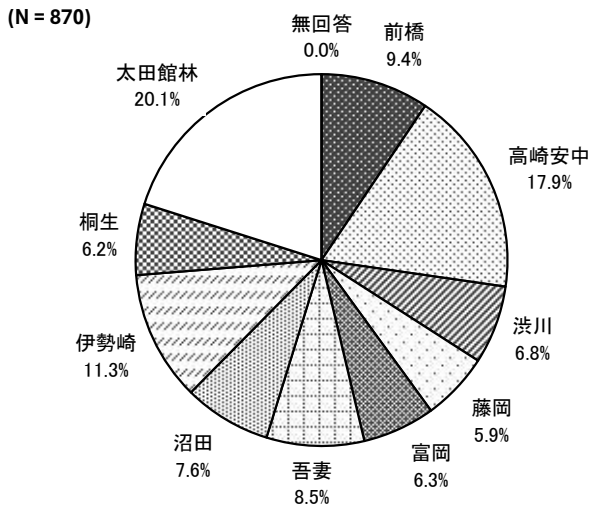
※可読性向上のため、一部修正を施している。

- 近くに公共交通機関が無いので、車がないと買物などの外出ができない。安価で利用できるバスタクシーやボランティアなど車が運転できなくなっても外出できるようになって欲しい。
- 近所の高齢者は自宅にとじこもって社会と断絶している感があるので、私は多くのコミュニティーに積極的に参加しようと思っておりますが、今後より高齢になったら、その意欲は無くなってしまふのかわかりません。様々なコミュニティーの情報が得やすく、かつ気軽に参加出来ると良いですね。
- 個人として尊重され、幸福追求に対する、市民の権利が満たされる制度であることを望む。
- 今は、仕事をしていますが出来なくなった時のことを考えると色々心配になります（金の事とか）。
- 週1～2回介護予防のために通える体を動かす（ヨガ等）教室が町内で開催されると良い。夜の筋トレはあるが昼間に開催している会場があるとよい。昼間出かけられる場所がほしい。
- 健康寿命を少しでも延ばす為、また現在の健康を維持する為に努力しています。「好奇心を持ち、感動する心を大切に、感謝の心を持ち自分で出来る事はする」…そんな気持ちで毎日生活しています。
- 介護保険が気軽に使える様になってほしい。
- 自分が1人暮らしになり身内も遠方にしかおらず日常生活を送るのが困難になった時、介護サービスを受けるのに年金生活でも支援が受けられるのだろうか？心配です。
- 施設入所について、介護3～5としているが申し込んでも介護度が高い人から順に入るといので中々入所できない。申し込み順にさせていただきたく希望します。
- 現在1人生活を行っており、何かあった場合の訪問介護が出来るよう体制づくりをお願いしたい。
- 家族の方々はみんな考えてそれが最善と思いき色々決めていくが、本人にとって自分の考えを聞き入れていただけない事の方がつらい事と思います。本人の住みなれた家で終わる事の方が自分はいいと思います。
- 交通機関がとぼしい地域に住む身としては、車の運転が出来なくなった時の生活に不安。介護保険料を納めているが、自身が受ける身になった時、充分受けられるだろうか。
- 介護サービスを使わなくても生活していけるくらい元気で健康で幸せな老後を送りたいと思います。
- 報道等で老々介護等の事例が話題になりますが希望する人全員が金銭面や介護等級に関係なく高齢者施設に入所できる事を強く望みます。
- もっとリハビリ施設を増やしてほしい。必要な田舎ほど無い。
- 運転免許証の返納を考える時に、その後の日常の買い物や通院等に際し、代替方法がほとんど無いのが不安。
- 現在は母の介護をする身ですが、自分が介護されるときのことを考えると不安がある。もっと自身で介護の知識や受けられるサービスなど学ばなくてはいけないと思った。
- 核家族化が進み、面倒を見られる人が減る中で地域がいかに支えるのか。家族としては支えたいが、自分の生活もありどこまでサポートできるのか不安です。

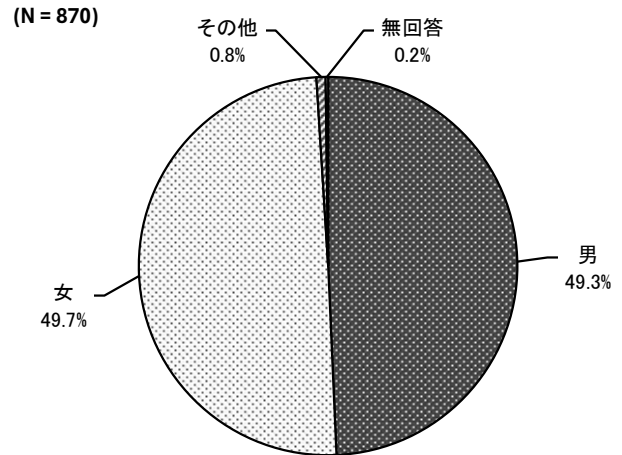
Ⅲ 調査結果（介護家族等に関する県民意識調査）

1 属性

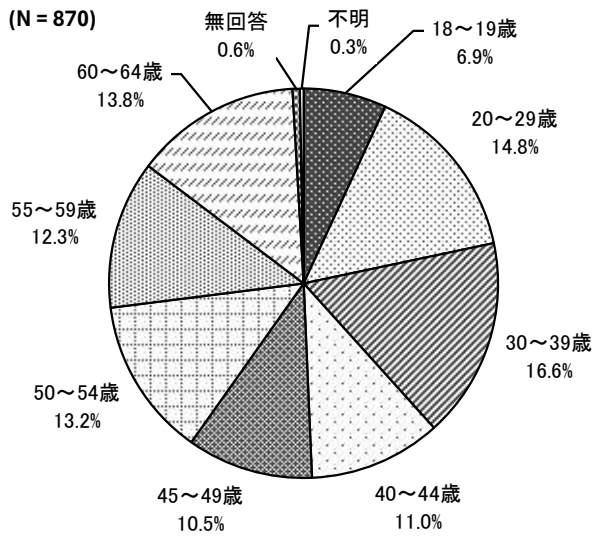
(1) 保健福祉圏域



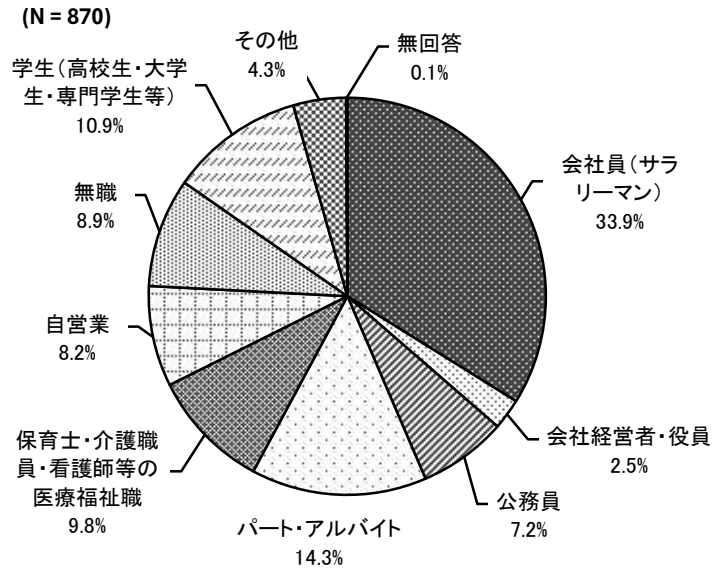
(2) 性別



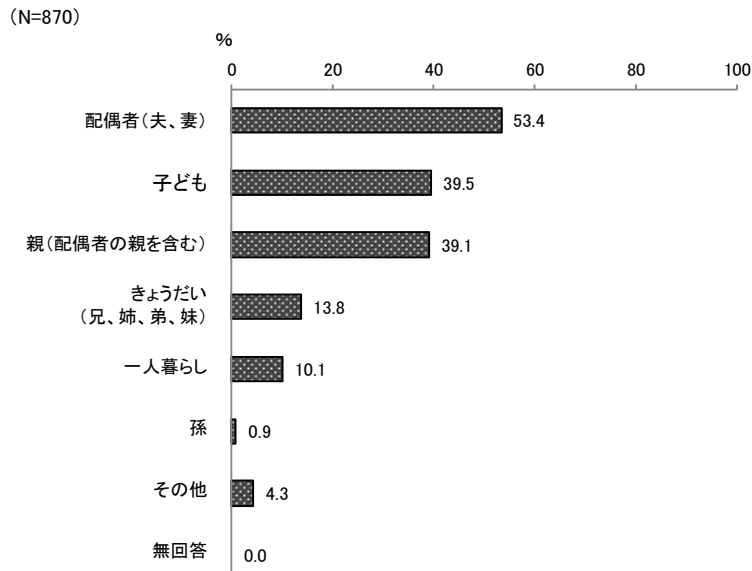
(3) 年齢



(4) 職業



(5) 同居している家族

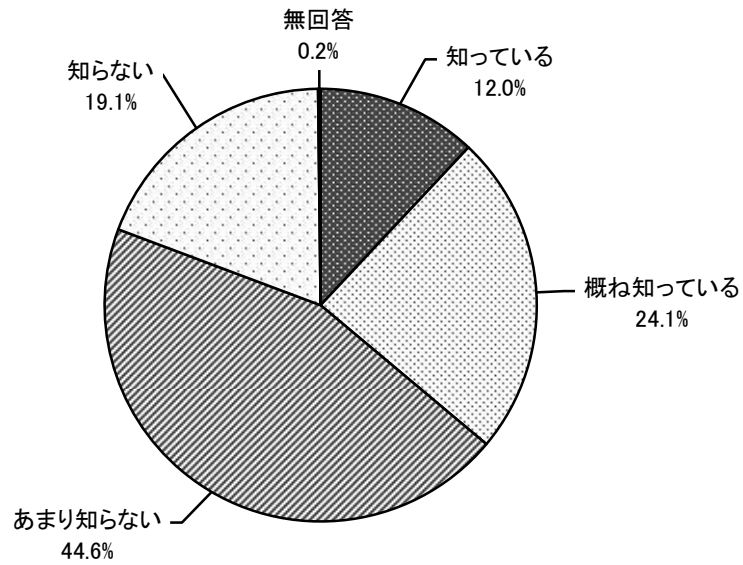


2 介護保険制度について

介護保険制度の仕組みの認知度

問6 介護保険制度の仕組みを知っていますか（1つだけに☑）

(N = 870)



介護保険制度の仕組みの認知度について、「知っている」（12.0%）、「概ね知っている」（24.1%）を合わせた＜知っている＞は36.1%となっている。一方、「あまり知らない」（44.6%）、「知らない」（19.1%）を合わせた＜知らない＞は 63.7%となっている。

介護保険制度の仕組みの認知度〈保健福祉圏域別〉

(%)

	全 体	知 っ て い る	概 ね 知 っ て い る	あ ま り 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
全 体	870 100.0	104 12.0	210 24.1	388 44.6	166 19.1	2 0.2
前橋	82 100.0	9 11.0	25 30.5	31 37.8	17 20.7	- -
高崎安中	156 100.0	21 13.5	39 25.0	66 42.3	30 19.2	- -
渋川	59 100.0	6 10.2	12 20.3	30 50.8	11 18.6	- -
藤岡	51 100.0	6 11.8	17 33.3	19 37.3	9 17.6	- -
富岡	55 100.0	4 7.3	18 32.7	21 38.2	12 21.8	- -
吾妻	74 100.0	10 13.5	13 17.6	37 50.0	14 18.9	- -
沼田	66 100.0	8 12.1	17 25.8	31 47.0	10 15.2	- -
伊勢崎	98 100.0	11 11.2	19 19.4	41 41.8	26 26.5	1 1.0
桐生	54 100.0	6 11.1	9 16.7	27 50.0	12 22.2	- -
太田館林	175 100.0	23 13.1	41 23.4	85 48.6	25 14.3	1 0.6

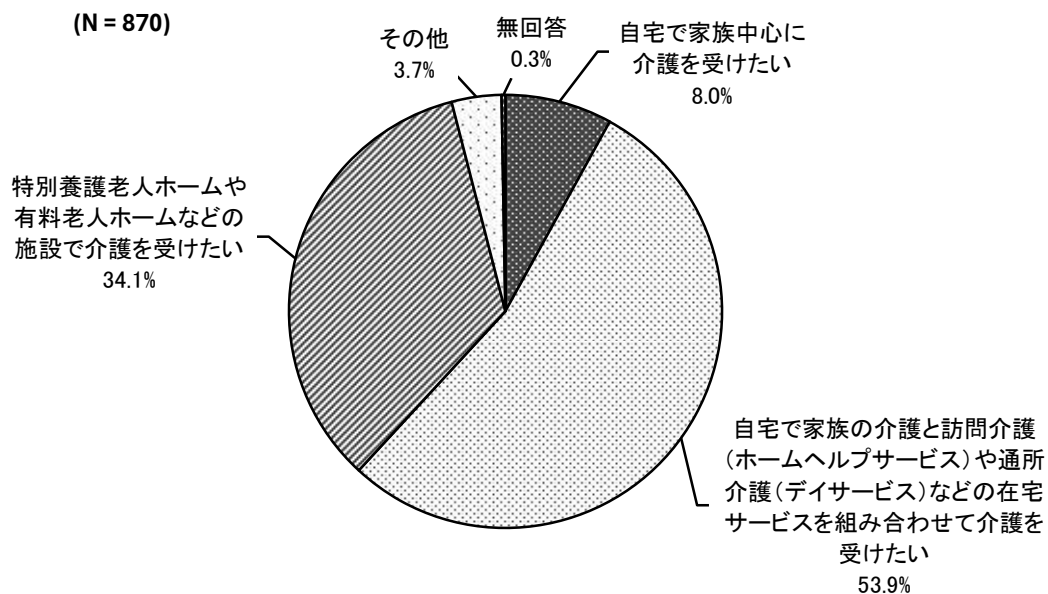
保健福祉圏域別にみると、「知っている」と「概ね知っている」を合わせた〈知っている〉は、藤岡圏域（45.1%）や前橋圏域（41.5%）で高い。一方、「あまり知らない」と「知らない」を合わせた〈知らない〉は、桐生圏域（72.2%）や渋川圏域（69.4%）、吾妻圏域（68.9%）で高い。

3 介護に関するサービスの利用について

(1) 介護が必要となった場合の希望

問7 あなたに介護が必要となった場合、どのような介護を受けることを望みますか。

(あなたの考えに最も近いもの1つだけに☑)



介護が必要となった場合の希望は、「自宅で家族の介護と訪問介護 (ホームヘルプサービス) や通所介護 (デイサービス) などの在宅サービスを組み合わせて介護を受けたい」が53.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」(34.1%)、「自宅で家族中心に介護を受けたい」(8.0%)の順となっている。

介護が必要となった場合の希望〈保健福祉圏域別〉

(%)

	全 体	自 宅 で 家 族 中 心 に 介 護 を 受 け た い	自 宅 で 家 族 の 介 護 と 訪 問 介 護 や 通 所 介 護 を 受 け た い	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム や 有 料 老 人 ホ ー ム な ど の 施 設 で 介 護 を 受 け た い	そ の 他	無 回 答
全 体	870 100.0	70 8.0	468 53.8	297 34.1	32 3.7	3 0.3
前橋	82 100.0	8 9.8	47 57.3	25 30.5	2 2.4	- -
高崎安中	156 100.0	7 4.5	77 49.4	67 42.9	5 3.2	- -
渋川	59 100.0	5 8.5	34 57.6	19 32.2	1 1.7	- -
藤岡	51 100.0	1 2.0	33 64.7	16 31.4	1 2.0	- -
富岡	55 100.0	5 9.1	32 58.2	16 29.1	1 1.8	1 1.8
吾妻	74 100.0	4 5.4	40 54.1	27 36.5	3 4.1	- -
沼田	66 100.0	2 3.0	36 54.5	26 39.4	2 3.0	- -
伊勢崎	98 100.0	16 16.3	48 49.0	27 27.6	5 5.1	2 2.0
桐生	54 100.0	8 14.8	25 46.3	17 31.5	4 7.4	- -
太田館林	175 100.0	14 8.0	96 54.9	57 32.6	8 4.6	- -

保健福祉圏域別にみると、「自宅で家族の介護と訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを組み合わせて介護を受けたい」は藤岡圏域が64.7%と特に高くなっている。

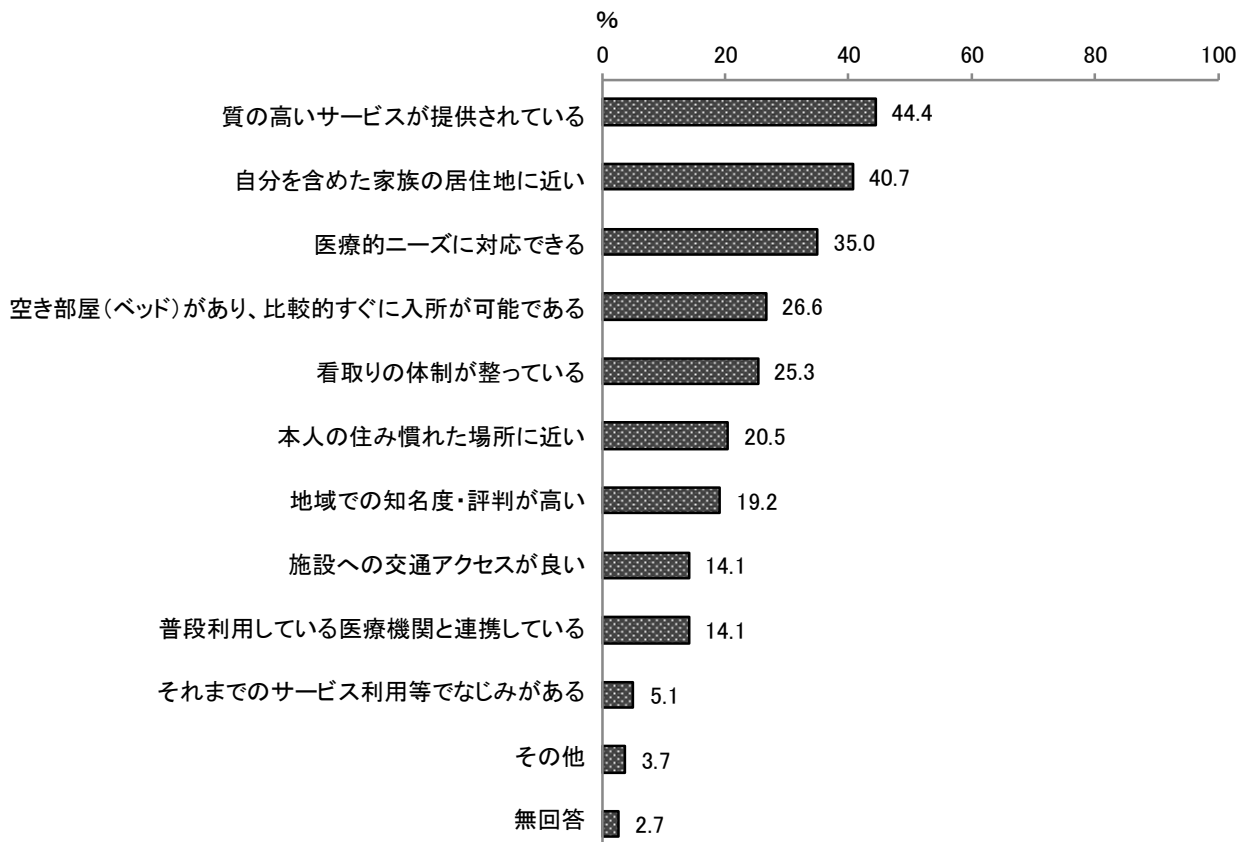
また、「自宅で家族中心に介護を受けたい」は伊勢崎圏域（16.3%）や桐生圏域（14.8%）で高く、「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」は高崎安中圏域（42.9%）や沼田圏域（39.4%）で高い。

(2) 施設を選ぶ際の条件

【問7で「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設で介護を受けたい」と回答】

問7-2 施設を選ぶ際に何を考慮するか選んでください。(3つ以内で☑)

(N=297)



施設を選ぶ際の条件は、「質の高いサービスが提供されている」が44.4%で最も多く、次いで「自分を含めた家族の居住地に近い」(40.7%)、「医療的ニーズに対応できる」(35.0%)の順となっている。

施設を選ぶ際の条件〈保健福祉圏域別〉

(%)

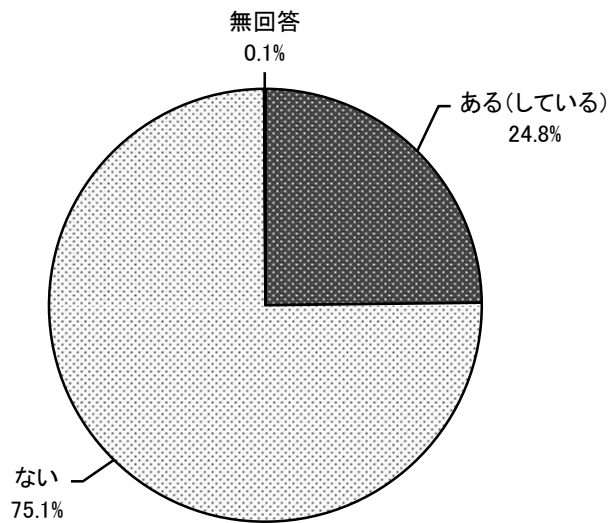
	全体	空き部屋（ベッド）があり、比較的すぐに入所が可能である	本人の住み慣れた場所に近い	自分を含めた家族の居住地に近い	施設への交通アクセスが良い	地域での知名度・評判が高い	それまでのサービス利用等なじみがある	医療的ニーズに対応できる	看取りの体制が整っている	普段利用している医療機関と連携している	質の高いサービスが提供されている	その他	無回答
全体	297 100.0	79 26.6	61 20.5	121 40.7	42 14.1	57 19.2	15 5.1	104 35.0	75 25.3	42 14.1	132 44.4	11 3.7	8 2.7
前橋	25 100.0	4 16.0	4 16.0	9 36.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	7 28.0	9 36.0	4 16.0	11 44.0	-	1 4.0
高崎安中	67 100.0	25 37.3	12 17.9	30 44.8	10 14.9	12 17.9	3 4.5	23 34.3	18 26.9	6 9.0	31 46.3	4 6.0	2 3.0
洪川	19 100.0	5 26.3	2 10.5	8 42.1	3 15.8	7 36.8	-	8 42.1	5 26.3	-	12 63.2	1 5.3	-
藤岡	16 100.0	4 25.0	5 31.3	9 56.3	1 6.3	1 6.3	3 18.8	4 25.0	3 18.8	2 12.5	7 43.8	1 6.3	-
富岡	16 100.0	3 18.8	7 43.8	8 50.0	3 18.8	-	-	5 31.3	7 43.8	5 31.3	5 31.3	-	-
吾妻	27 100.0	7 25.9	6 22.2	6 22.2	5 18.5	5 18.5	3 11.1	10 37.0	4 14.8	5 18.5	9 33.3	1 3.7	1 3.7
沼田	26 100.0	6 23.1	5 19.2	10 38.5	3 11.5	7 26.9	3 11.5	9 34.6	10 38.5	7 26.9	6 23.1	-	2 7.7
伊勢崎	27 100.0	7 25.9	5 18.5	12 44.4	3 11.1	2 7.4	-	10 37.0	4 14.8	3 11.1	17 63.0	3 11.1	1 3.7
桐生	17 100.0	5 29.4	2 11.8	7 41.2	1 5.9	4 23.5	-	5 29.4	4 23.5	3 17.6	9 52.9	1 5.9	1 5.9
太田館林	57 100.0	13 22.8	13 22.8	22 38.6	11 19.3	18 31.6	1 1.8	23 40.4	11 19.3	7 12.3	25 43.9	-	-

保健福祉圏域別にみると、高崎安中圏域では「空き部屋（ベッド）があり、比較的すぐに入所が可能である」が37.3%と特に高い。また、太田館林圏域では「地域での知名度・評判が高い」が31.6%と特に高い。

(3) 親族の介護経験

問8 親族の介護をしたことはありますか。(1つだけに☑)

(N=870)



親族の介護経験は、「ある(している)」が24.8%、「ない」が75.1%となっている。

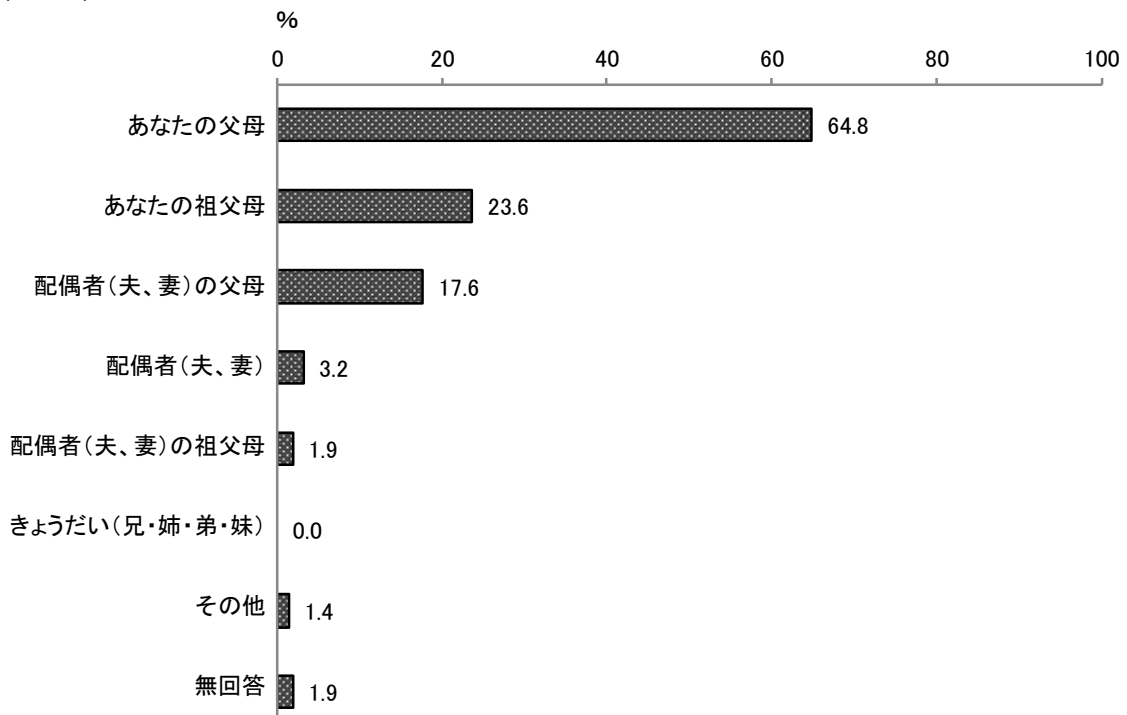
(4) 介護の対象者との関係性

【問8で「ある(している)」と回答】

問9 その時、介護を受けた方は誰ですか。回答者から見た続柄をご回答ください。

(当てはまるもの全てに☑)

(N=216)

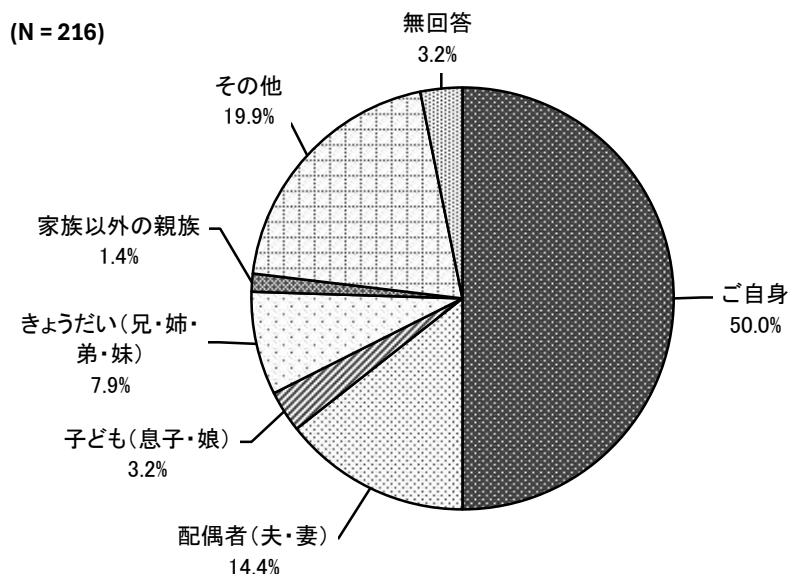


介護の対象者との関係性は、「あなたの父母」が64.8%で最も多く、次いで「あなたの祖父母」(23.6%)、「配偶者(夫、妻)の父母」(17.6%)の順となっている。

(5) 介護の主担当者との関係性

【問8で「ある（している）」と回答】

問10 その時、主に介護を担当した方は誰ですか。回答者から見た続柄をご回答ください。
(1つだけに☑)

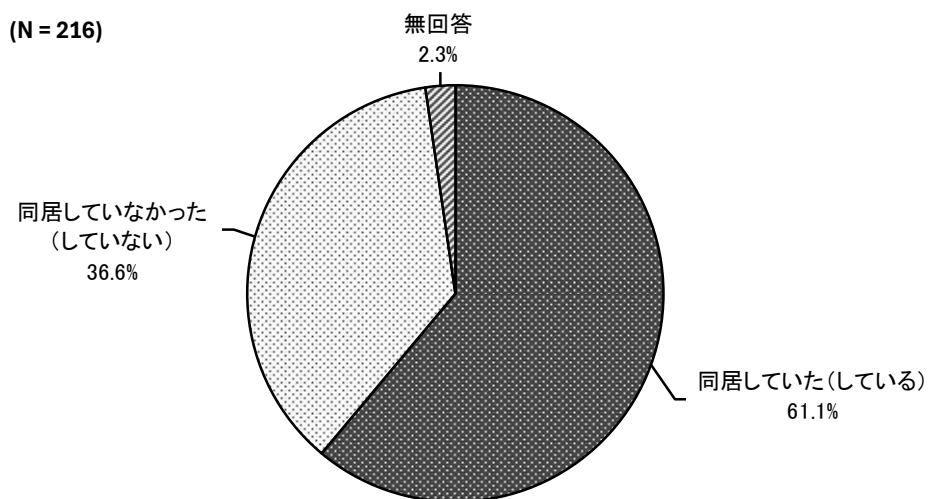


介護の主担当者との関係性について、「ご自身」が50.0%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」（14.4%）、「きょうだい（兄・姉・弟・妹）」（7.9%）の順となっている。

(6) 介護を受けた方との同居の有無

【問8で「ある（している）」と回答】

問11 その時、介護を受けた方と同居していましたか。(1つだけに☑)



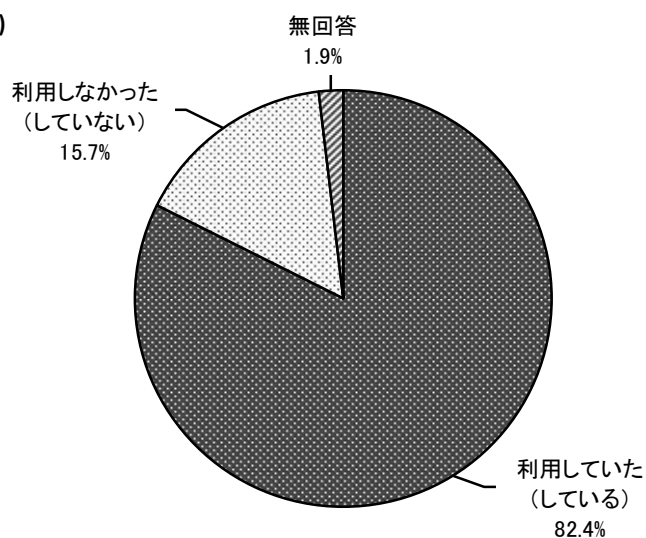
介護を受けた方との同居の有無について、「同居していた（している）」が61.1%、「同居していなかった（していない）」が36.6%となっている。

(7) 介護保険サービスの利用の有無

【問8で「ある（している）」と回答】

問12 介護をしている時、介護保険サービスを利用しましたか。（1つだけに☑）

(N = 216)



介護保険サービスの利用の有無は、「利用していた（している）」が82.4%、「利用しなかった（していない）」が15.7%となっている。

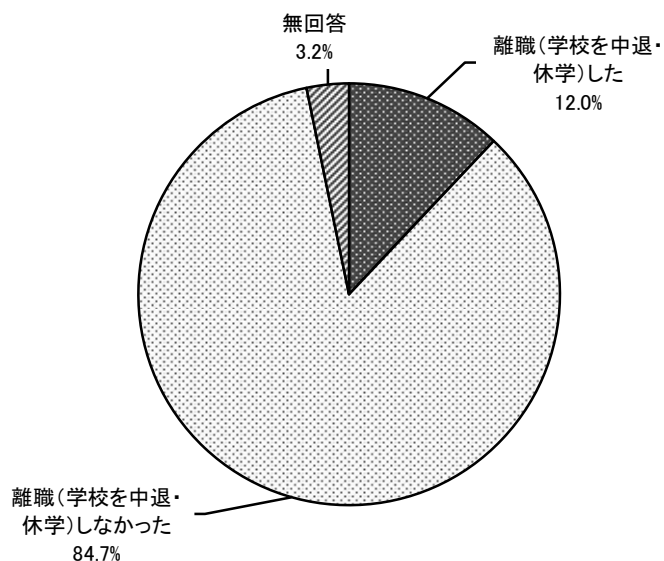
4 介護離職及び学業への影響について

(1) 介護離職の経験の有無

【問8で「ある（している）」と回答】

問13 あなた又は親族が、介護のために離職（学校を中退・休学）をしましたか。（1つだけに☑）

(N = 216)



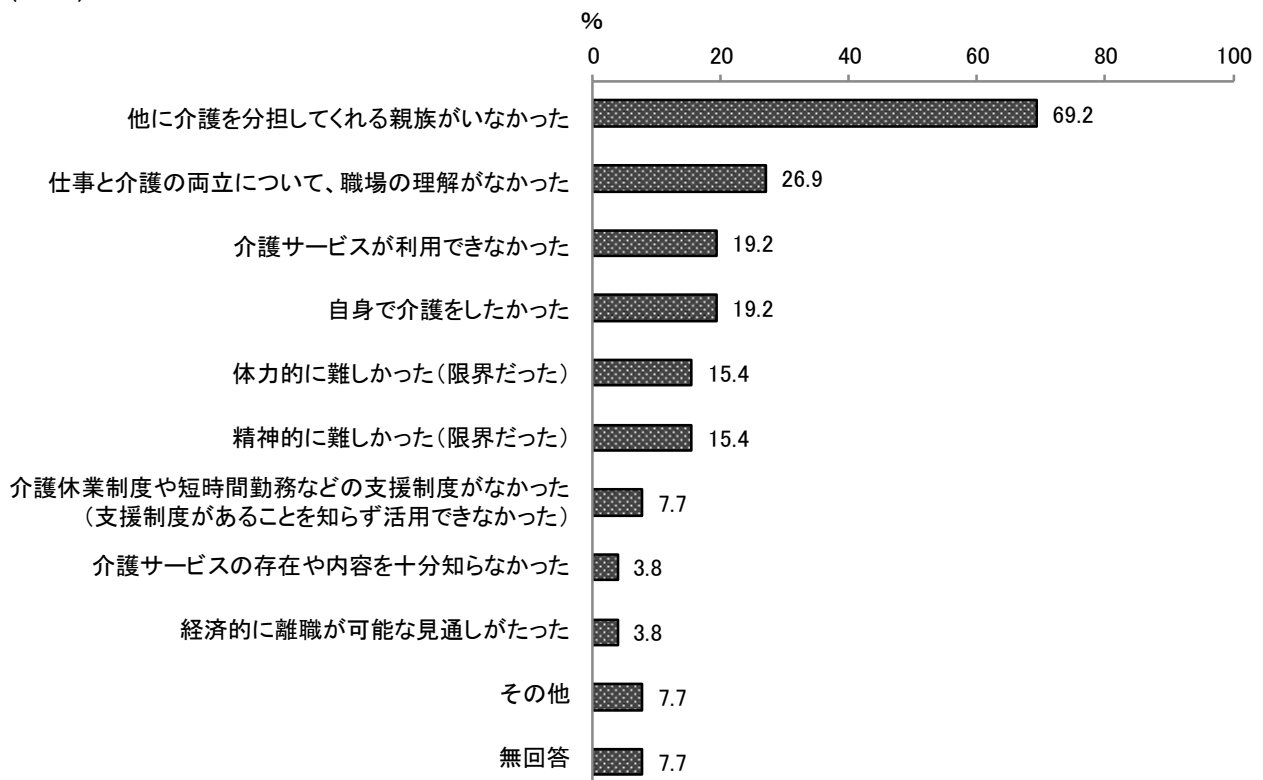
介護離職の経験の有無について、「離職（学校を中退・休学）した」が12.0%、「離職（学校を中退・休学）しなかった」が84.7%となっている。

(2) 介護離職の理由について

【問13で「離職（学校を中退・休学）した」と回答】

問13-2 離職（学校を中退・休学）した理由を選んでください。（3つ以内で☑）

(N=26)



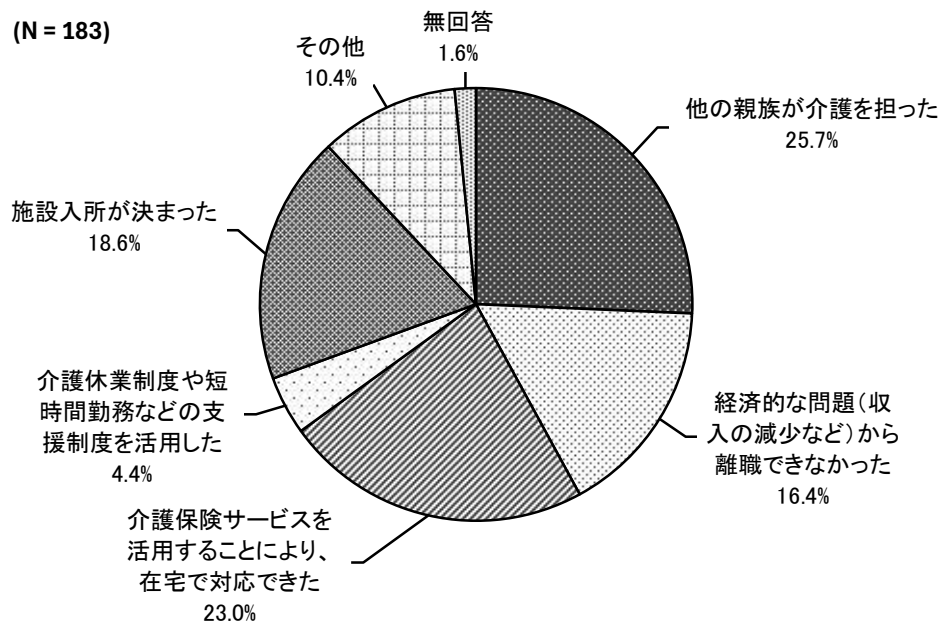
介護離職した理由について、「他に介護を分担してくれる親族がいなかった」が69.2%で最も多くなっている。次いで「仕事と介護の両立について、職場の理解がなかった」（26.9%）と続き、「介護サービスが利用できなかった」及び「自身で介護をしたかった」がともに19.2%となっている。

(3) 介護離職しなかった理由について

【問13で「離職（学校を中退・休学）しなかった」と回答】

問13-3 離職（学校を中退・休学）しなかった理由を選んでください。

（最も当てはまる1つだけに☑）



介護離職しなかった理由について、「他の親族が介護を担った」が25.7%で最も多く、次いで「介護保険サービスを活用することにより、在宅で対応できた」（23.0%）、「施設入所が決まった」（18.6%）の順となっている。

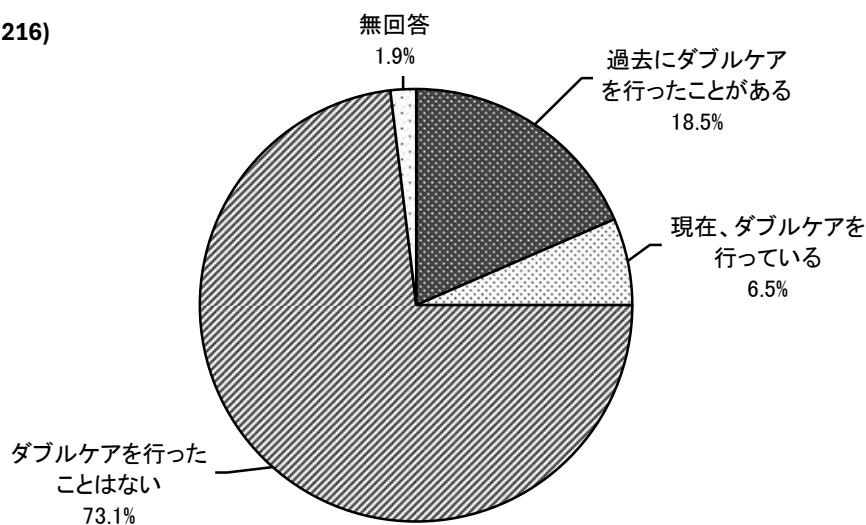
5 ダブルケア（介護・子育ての同時対応）について

（1）介護と育児のダブルケアの経験について

【問8で「ある（している）」と回答】

問14 親族の介護と同時に、子育てのダブルケアを行ったことがありますか。（1つだけに☑）

(N = 216)



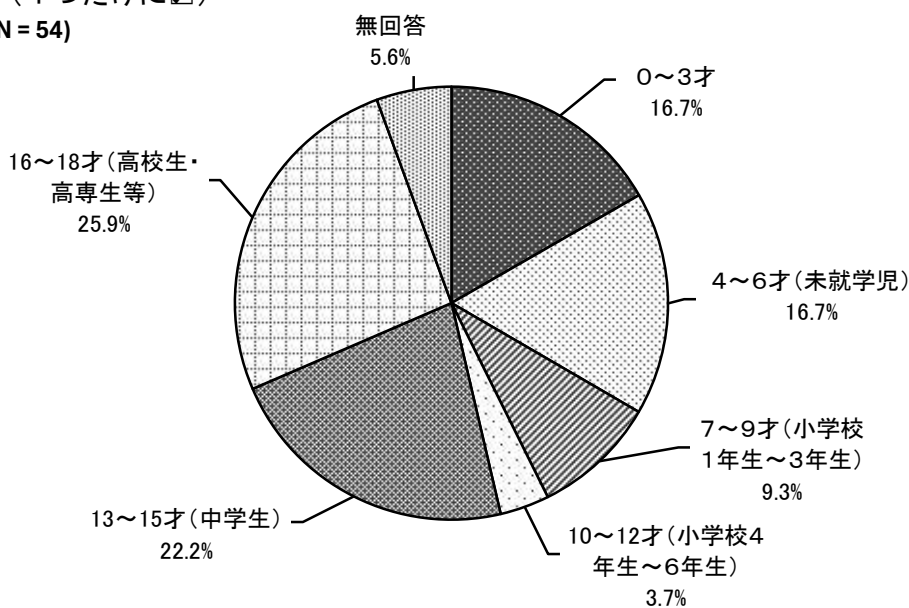
介護と育児のダブルケアの経験について、「過去にダブルケアを行ったことがある」が18.5%、「現在、ダブルケアを行っている」が6.5%、「ダブルケアを行ったことはない」が73.1%となっている。

（2）ダブルケアを行っていた時のお子さんの年齢

【問14で「過去にダブルケアを行ったことがある」または「現在、ダブルケアを行っている」と回答】

問14-2 ダブルケアを行っていた時（行っている）のお子さんの年齢で当てはまるものをお答えください。（1つだけに☑）

(N = 54)

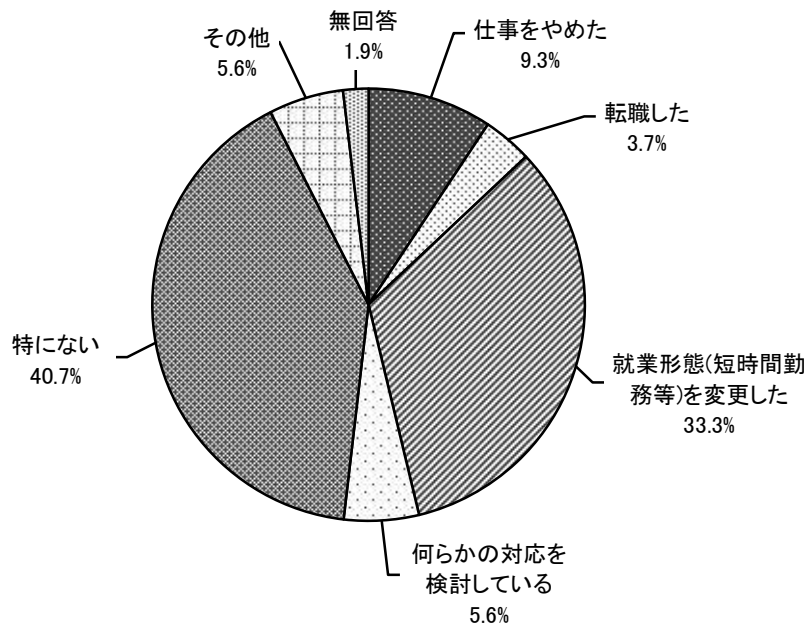


ダブルケアを行っていた時のお子さんの年齢は、「16~18才（高校生・高専生等）」が25.9%で最も多くなっている。次いで「13~15才（中学生）」（22.2%）と続き、「0~3才」及び「4~6才（未就学児）」はともに16.7%となっている。

(3) ダブルケアによる就業への影響

【問14で「過去にダブルケアを行ったことがある」または「現在、ダブルケアを行っている」と回答】
問14-3 ダブルケアを行ったことがある（行っている）ことによる就業への影響をお聞かせください。
（1つだけに☑）

(N = 54)



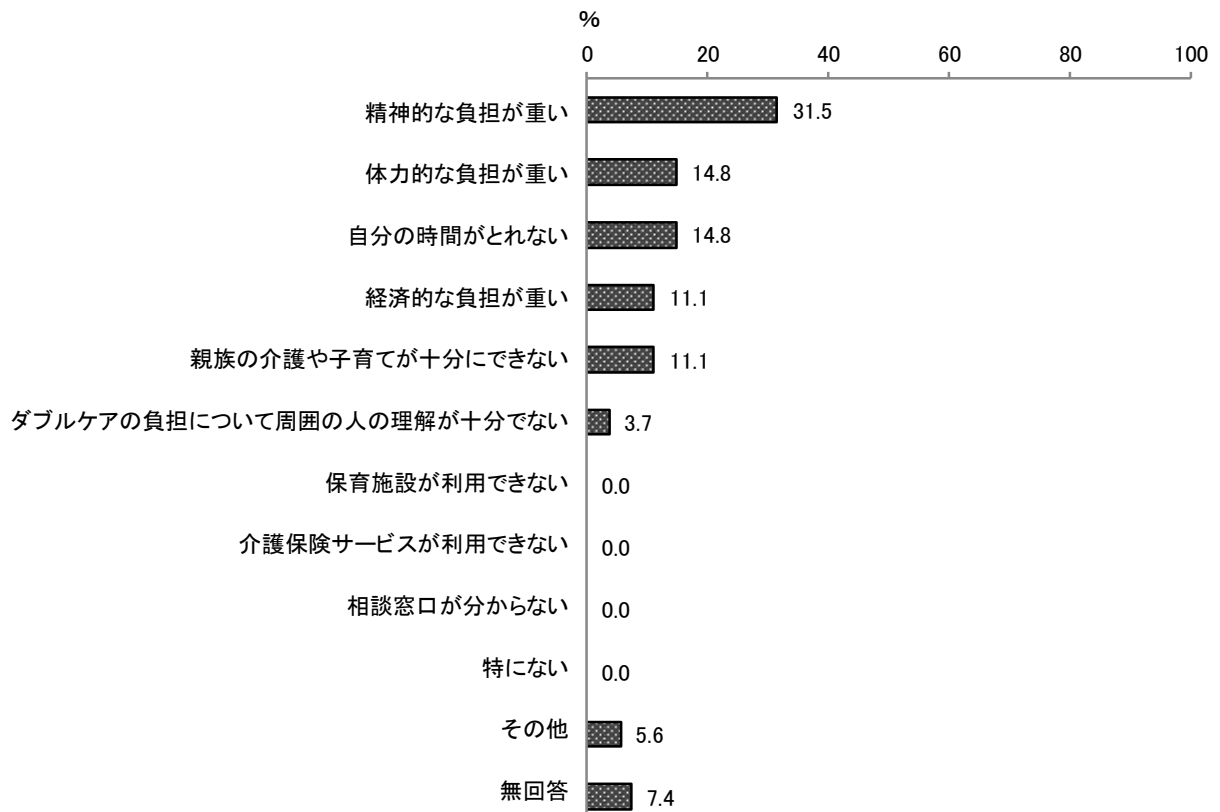
ダブルケアによる就業への影響は、「就業形態(短時間勤務等)を変更した」が33.3%で最も多く、次いで「仕事をやめた」(9.3%)、「何らかの対応を検討している」(5.6%)の順となっている。一方、「特にない」は40.7%となっている。

(4) ダブルケアの負担感について

【問14で「過去にダブルケアを行ったことがある」または「現在、ダブルケアを行っている」と回答】

問14-4 ダブルケアの負担感についてお聞かせください。(最も当てはまる1つだけに☑)

(N=54)



ダブルケアの負担感について、「精神的な負担が重い」が31.5%で最も多くなっている。次いで「体力的な負担が重い」及び「自分の時間がとれない」が14.8%と続き、「経済的な負担が重い」、「親族の介護や子育てが十分にできない」がともに11.1%となっている。

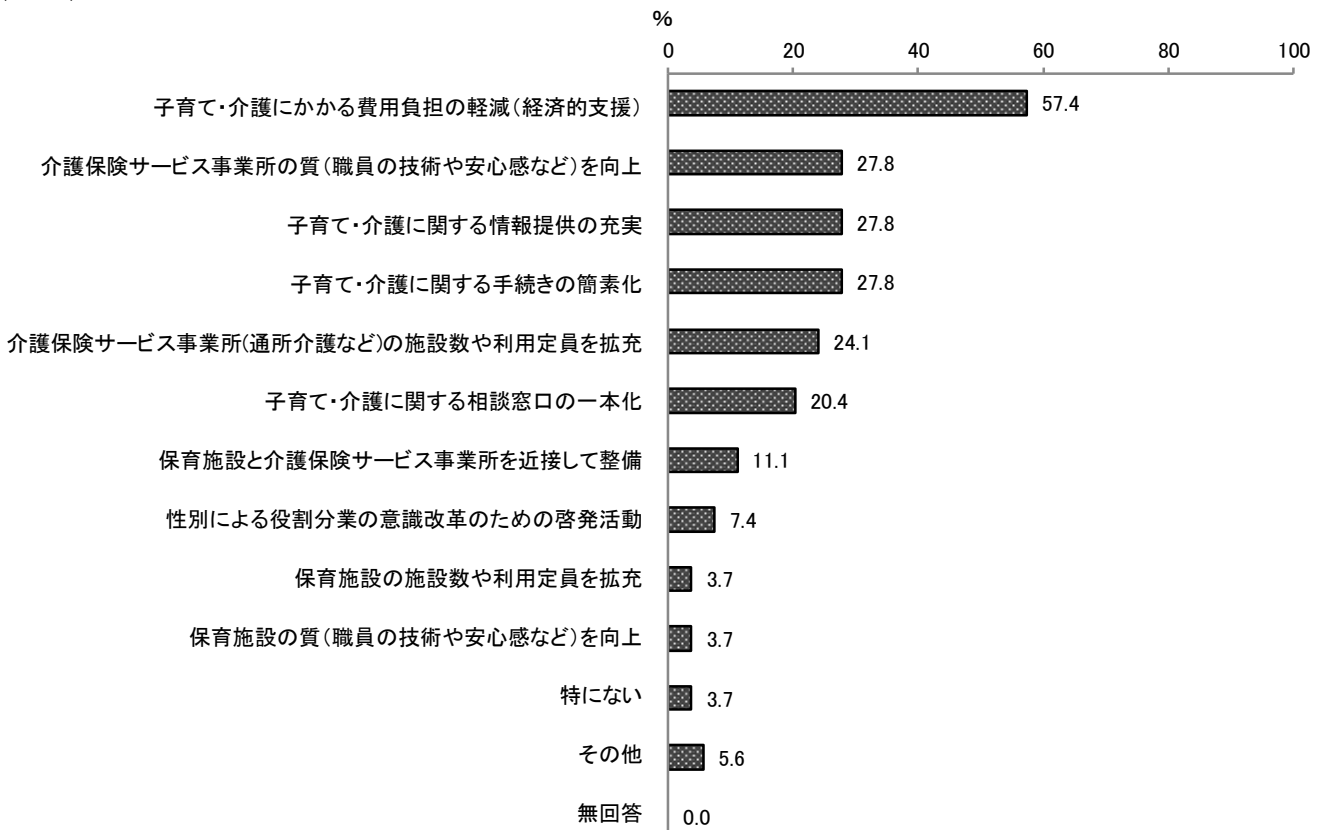
(5) ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策

【問14で「過去にダブルケアを行ったことがある」または「現在、ダブルケアを行っている」と回答】

問14-5 県・市町村が、ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策についてお聞かせください。

(3つ以内で☑)

(N=54)



ダブルケアの課題に対して取り組むべき支援策は、「子育て・介護にかかる費用負担の軽減(経済的支援)」が57.4%で最も多くなっている。次いで「介護保険サービス事業所の質(職員の技術や安心感など)を向上」、「子育て・介護に関する情報提供の充実」、「子育て・介護に関する手続きの簡素化」がそれぞれ27.8%、「介護保険サービス事業所(通所介護など)の施設数や利用定員を拡充」が24.1%の順となっている。

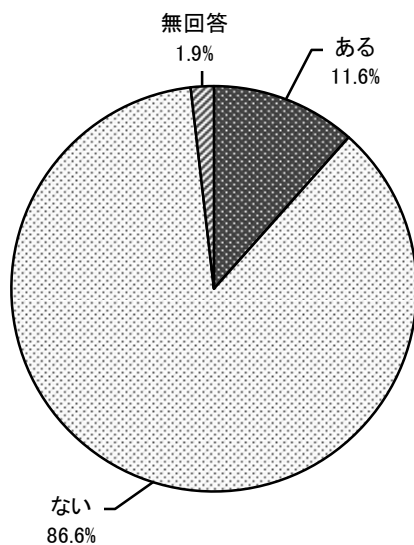
一方、「特にない」は3.7%となっている。

(6) 子どもに介護・世話を手伝ってもらった経験

【問8で「ある（している）」と回答】

問15 18歳未満の子どもに、高齢者の介護や障害・病気のある親族（祖父母・親・きょうだいなど）の介護や日常生活の世話を手伝ってもらった経験がありますか。（1つだけに☑）

(N = 216)



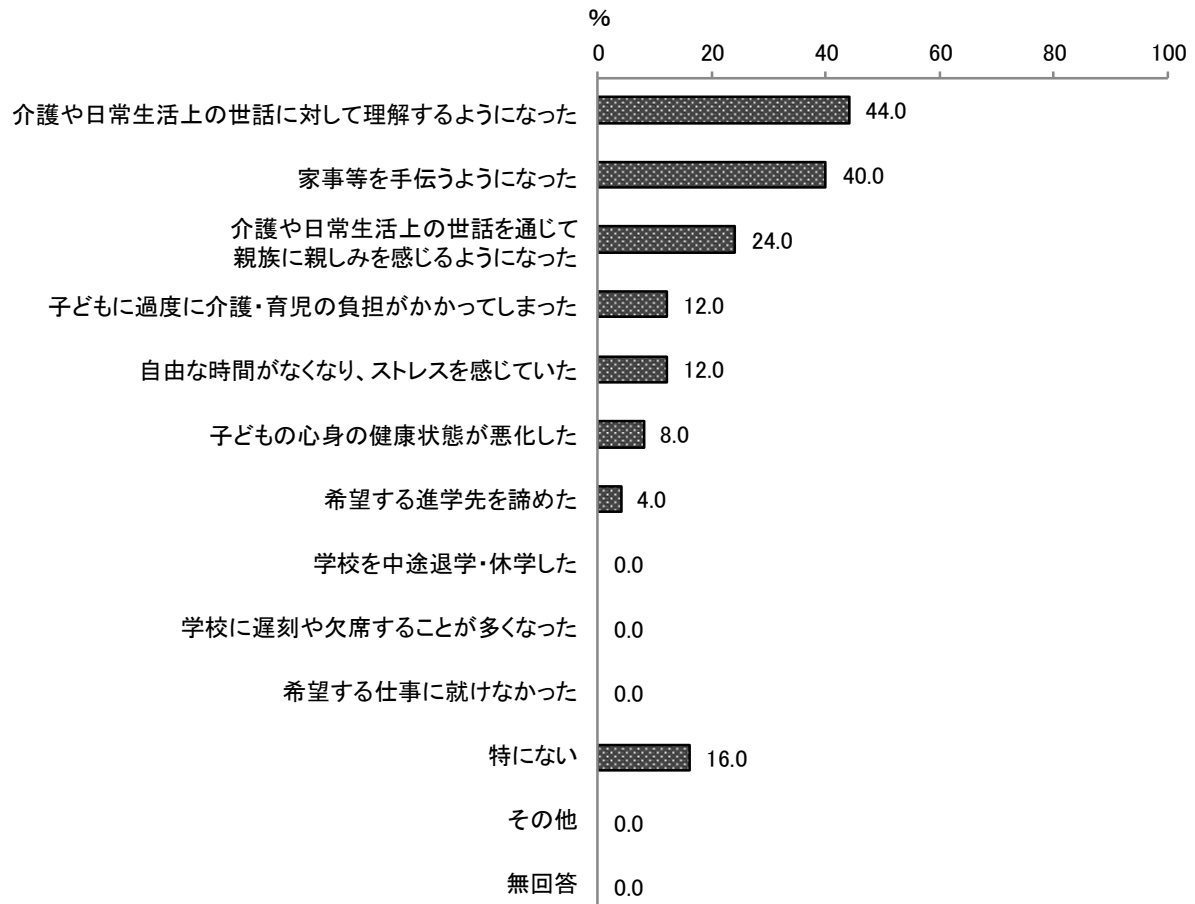
子どもに介護・世話を手伝ってもらった経験は、「ある」が11.6%、「ない」が86.6%となっている。

(7) 子どもの状態の変化について

【問 15で「ある」と回答】

問15-1 そのときの子どもの状態に変化はありましたか。(3つ以内で☑)

(N=25)

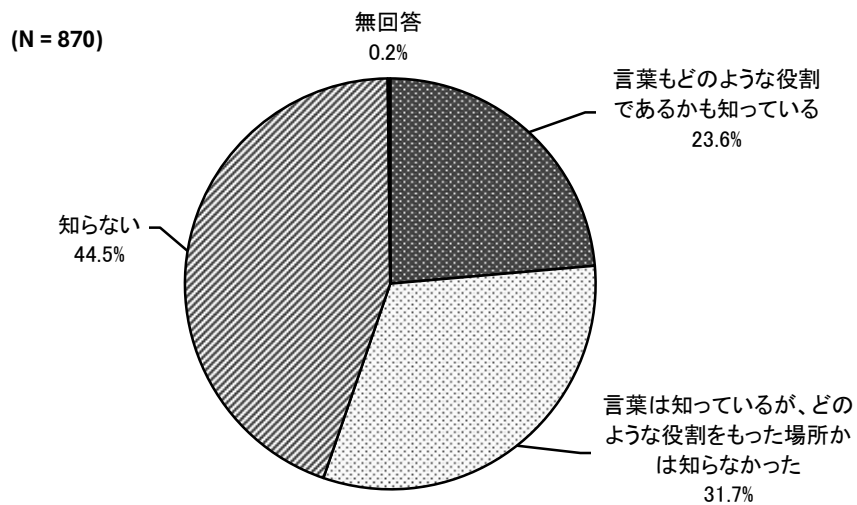


介護・世話を手伝ってもらったときの子どもの状態の変化について、「介護や日常生活上の世話に対して理解するようになった」が44.0%で最も多く、次いで「家事等を手伝うようになった」(40.0%)、「介護や日常生活上の世話を通じて親族に親しみを感じるようになった」(24.0%)の順となっている。一方、「特にない」は16.0%となっている。

6 地域包括支援センターについて

(1) 「地域包括支援センター」の認知度

問16 あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つだけに☑)



「地域包括支援センター」の認知度は、「言葉もどのような役割であるかも知っている」が23.6%、「言葉は知っているが、どのような役割をもった場所かは知らなかった」が31.7%、「知らない」が44.5%となっている。

「地域包括支援センター」の認知度〈保健福祉圏域別〉

(%)

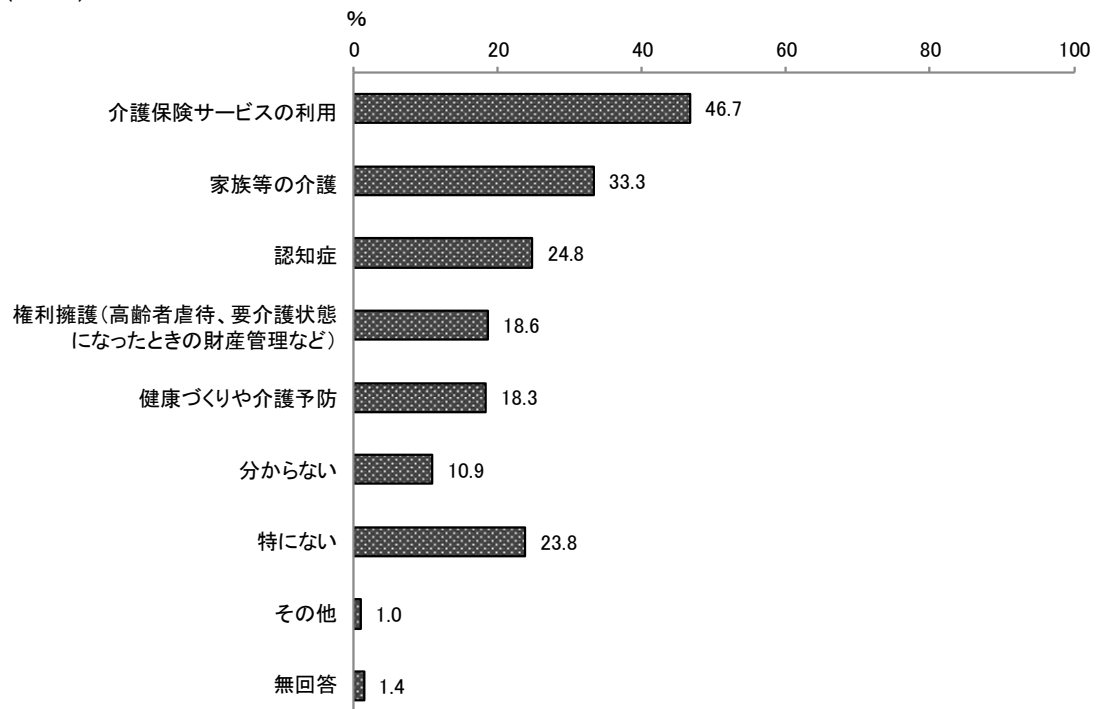
	全 体	言葉もど のような 役割であ るかも 知っている	言葉は知 っている が、ど のような 役割をも つた場 所かは 知らな かった	知 ら な い	無 回 答
全 体	870 100.0	205 23.6	276 31.7	387 44.5	2 0.2
前橋	82 100.0	25 30.5	20 24.4	37 45.1	- -
高崎安中	156 100.0	33 21.2	53 34.0	70 44.9	- -
渋川	59 100.0	16 27.1	20 33.9	23 39.0	- -
藤岡	51 100.0	12 23.5	21 41.2	18 35.3	- -
富岡	55 100.0	11 20.0	19 34.5	25 45.5	- -
吾妻	74 100.0	15 20.3	19 25.7	40 54.1	- -
沼田	66 100.0	23 34.8	27 40.9	15 22.7	1 1.5
伊勢崎	98 100.0	27 27.6	24 24.5	46 46.9	1 1.0
桐生	54 100.0	10 18.5	16 29.6	28 51.9	- -
太田館林	175 100.0	33 18.9	57 32.6	85 48.6	- -

保健福祉圏域別にみると、「言葉もどのような役割であるかも知っている」は沼田圏域が34.8%と特に高い。一方、「知らない」は吾妻圏域（54.1%）や桐生圏域（51.9%）で高い。

(2) 地域包括支援センターに相談したいことについて

問17 高齢者の皆さんをさまざまな面から支える地域包括支援センターであなた自身や家族のことなどで相談してみたいことがあれば、教えてください。(3つ以内で☑)

(N=870)



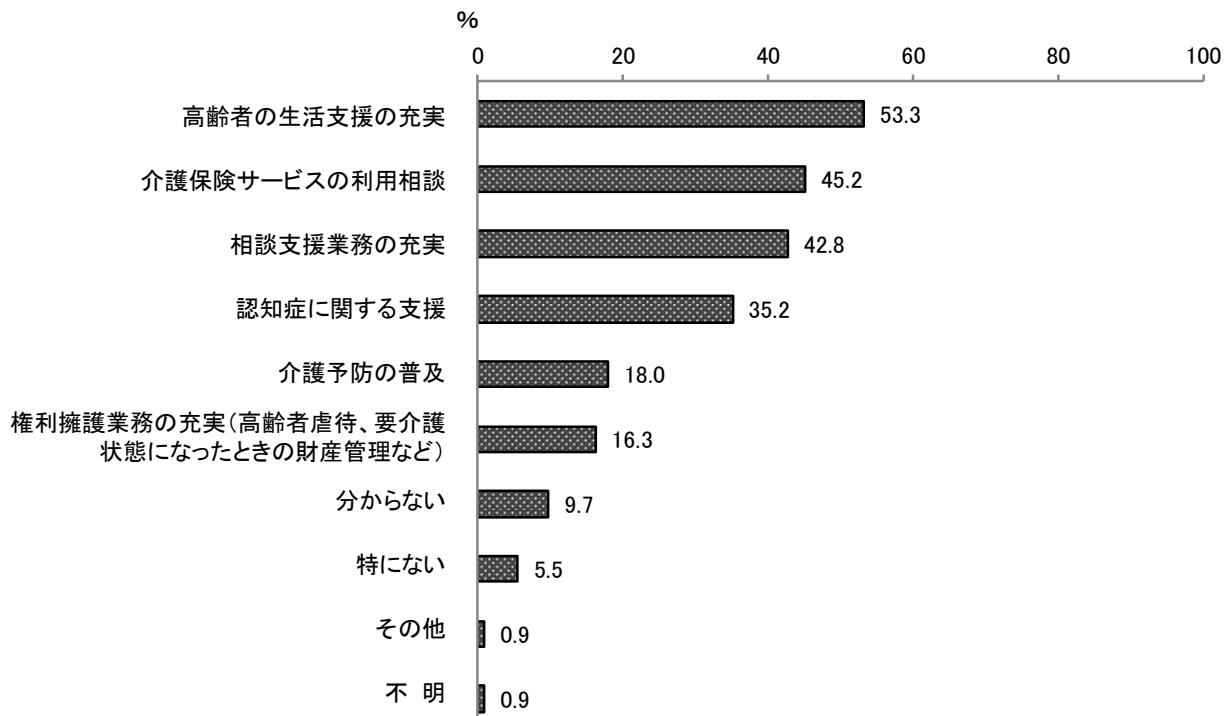
地域包括支援センターに相談したいことについて、「介護保険サービスの利用」が46.7%で最も多く、次いで「家族等の介護」(33.3%)、「認知症」(24.8%)の順となっている。

一方、「分からない」は10.9%、「特になし」は23.8%となっている。

(3) 地域包括支援センターに期待すること

問18 高齢者の皆さんをさまざまな面から支える地域包括支援センターにどのようなことを期待しますか。(3つ以内で☑)

(N=870)



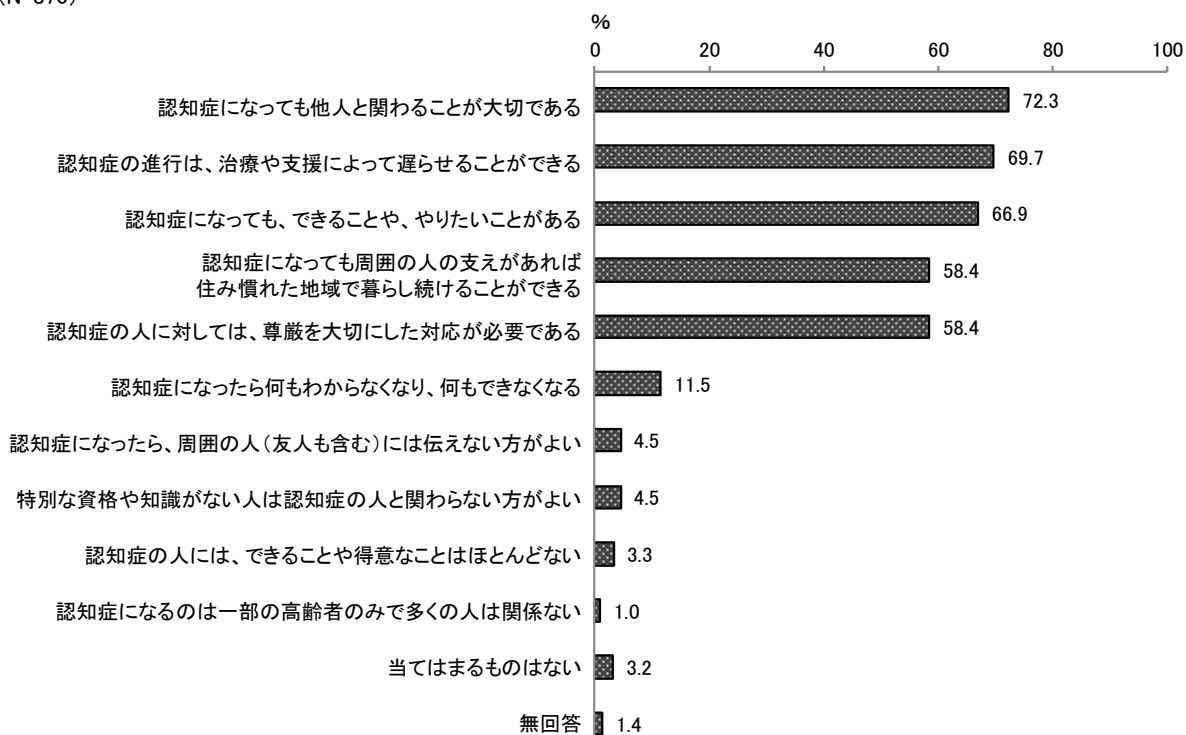
地域包括支援センターに期待することは、「高齢者の生活支援の充実」が53.3%で最も多く、次いで「介護保険サービスの利用相談」(45.2%)、「相談支援業務の充実」(42.8%)の順となっている。一方、「分からない」は9.7%、「特にない」は5.5%となっている。

(4) 「認知症」や「認知症の人」に関して、「そう思う」もの

問19 あなたが「認知症」や「認知症の人」に関して、「そう思う」ものを全て選んでください。

(当てはまるもの全てに☑)

(N=870)



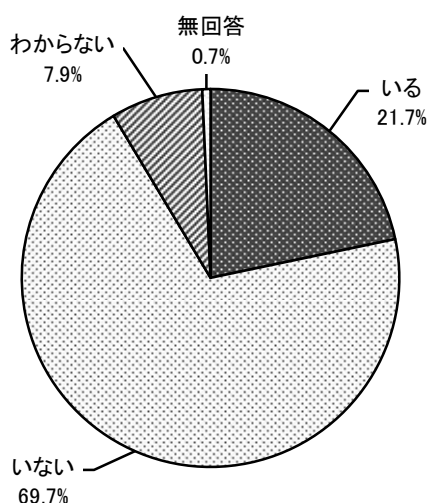
「認知症」や「認知症の人」に関して、「そう思う」ものは、「認知症になっても他人と関わる大切である」が72.3%で最も多く、次いで「認知症の進行は、治療や支援によって遅らせることができる」(69.7%)、「認知症になっても、できることや、やりたいことがある」(66.9%)の順となっている。

一方、「当てはまるものはない」は3.2%となっている。

(5) 身近な人における認知症の有無

問20 あなたの身近(家族、友人、知人)に認知症の人がいますか。(1つだけに☑)

(N=870)



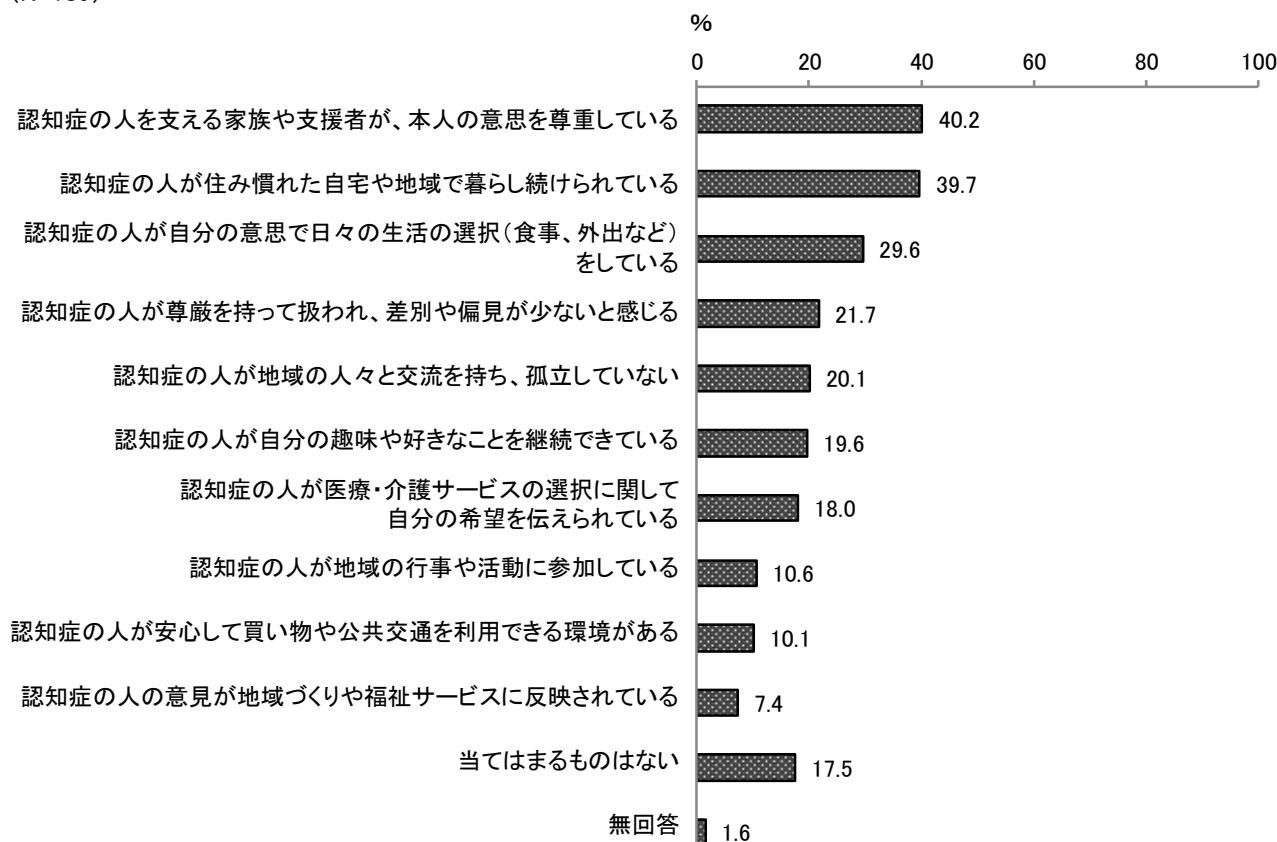
身近な人における認知症の有無について、「いる」が21.7%、「いない」が69.7%、「わからない」が7.9%となっている。

(6) 身の回りの認知症の人の状況について

【問20で「いる」と回答】

問20-2 あなたの身の回りの認知症の人の状況について、近いと思われる内容を全て選んでください。
(当てはまるもの全てに☑)

(N=189)



身の回りの認知症の人の状況について、近いと思われる内容は、「認知症の人を支える家族や支援者が、本人の意思を尊重している」が40.2%で最も多く、次いで「認知症の人が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられている」(39.7%)、「認知症の人が自分の意思で日々の生活の選択(食事、外出など)をしている」(29.6%)の順となっている。

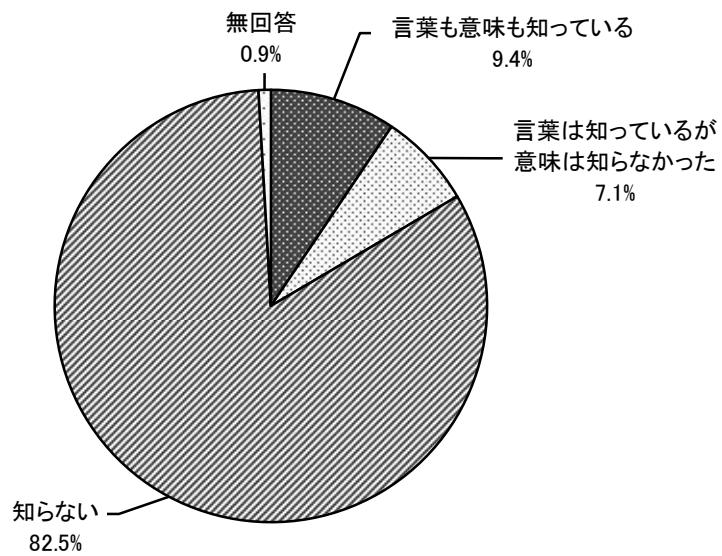
一方、「当てはまるものはない」は17.5%となっている。

7 人生最終段階の医療・ケアについて

「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」の認知度

問2 1 あなたは「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」という言葉を知っていますか。
（1つだけに☑）

(N = 870)



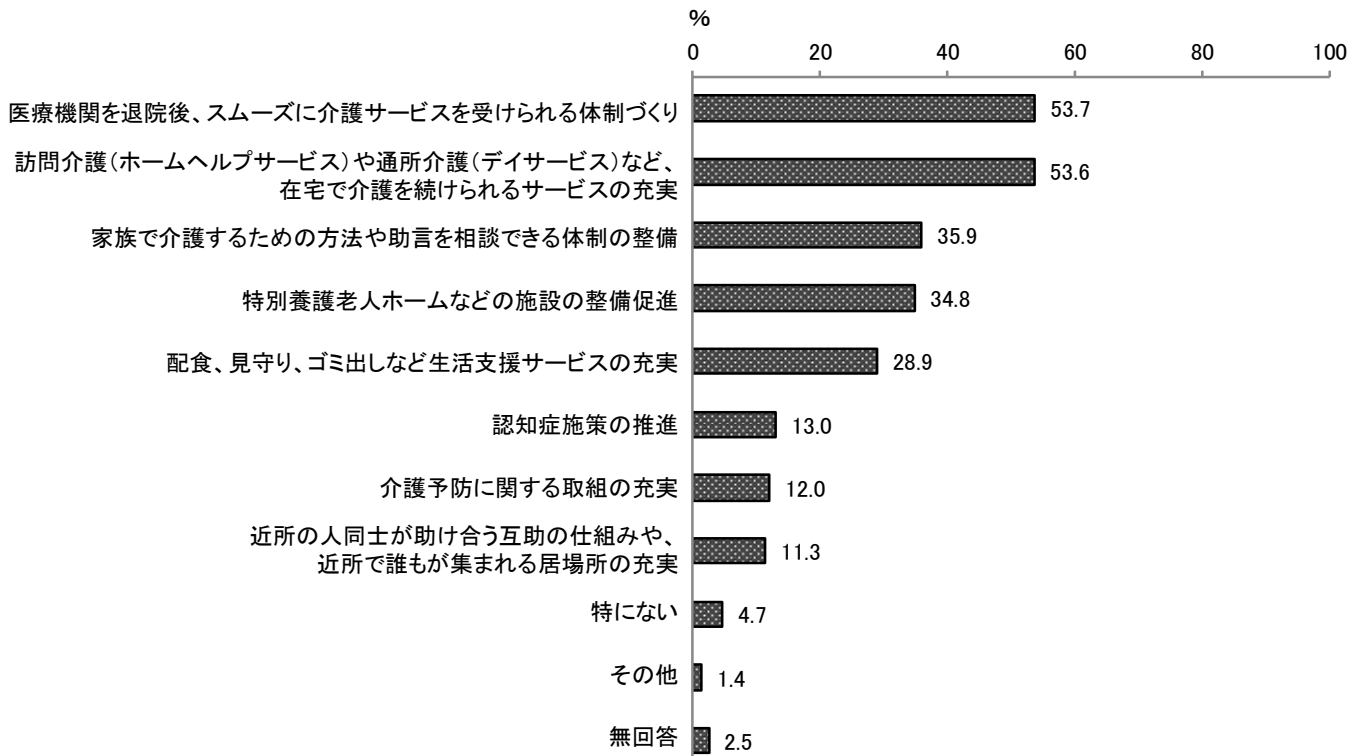
「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング<ACP>）」の認知度は、「言葉も意味も知っている」が9.4%、「言葉は知っているが意味は知らなかった」が7.1%、「知らない」が82.5%となっている。

8 その他

(1) 県・市町村が取り組むべき介護への支援

問2 2 県や市町村が、介護について取り組むべき支援についてお聞かせください。(3つ以内で☑)

(N=870)



県・市町村が取り組むべき介護への支援は、「医療機関を退院後、スムーズに介護サービスを受けられる体制づくり」が53.7%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）など、在宅で介護を続けられるサービスの充実」（53.6%）、「家族で介護するための方法や助言を相談できる体制の整備」（35.9%）の順となっている。

一方、「特にない」は4.7%となっている。

(2) 介護保険制度や高齢社会に関して感じていること、ご意見・ご要望

問23 あなたが日頃、介護保険制度や高齢社会に関し感じていることや、ご意見・ご要望などがありましたら自由に記入してください。(自由記述)

■具体的なお意見(一部抜粋)

※可読性向上のため、一部修正を施している。

- 介護保険制度の見直しは勿論のこと、社会福祉法人の改革等が必要と思われます。
- 認知症にはいろいろな人がいる事をわかって欲しい。人の性格はそれぞれ違うので認知症によって種類も多く認知症をかかえている人に説明して欲しい。
- 介護保険料を上げてでも、様々なサービスを充実させるべき。子の世代に負担を過度にかけず、極力、本人が自立して過ごせる様な、きめ細やかなサービスを望む。
- 介護保険の制度をもっと周知するべきだと思う。介護保険サービスについて知らない人が多いと感じる。
- 介護保険を活用するに当って、短期的に介護が必要な場合、年齢などの条件を満たすハードルを下げてもらいたいです。また、審査に時間を要す為、スムーズな対応になればいいと思いました。
- 近所同士が助け合う互助・仕組・居場所の充実は本当に大切だと思う。自ら望む最終段階における医療・ケアについて皆があたり前に話し合い出来る地域・社会になる事を強く望みます。
- 普段のささいな買物や通院に同行してもらえるサービス等の充実を求めます。また、1人ぐらしの高齢者が多いため声かけや訪問等を増やすことが認知症の予防にもなるかと思う。介護保険料は高額にとられるが、受ける際にも費用が高額にとられ、子育てばかり充実させず、高齢者に対しての配慮も必要と思う。
- 現在、母と祖母が要介護3の状態、それぞれ福祉制度を利用しています。担当のケアマネジャーさんや入所施設の方々には本当に感謝しています。自分自身の仕事や育児もあるなか、介護保険制度やそれに伴うサービスがなかったら、精神的にも時間的にももっと追い詰められていたと思います。お風呂の介助も1人ではままなりません。親孝行の気持ちだけで自宅介護をするのは限界があり、共倒れになるだけだと感じました。介護施設や職員さんのお力を借りながら、勤労世代も高齢世代も平穏に暮らせたらと思います。安心して施設やサービスの利用ができるよう、介護職員さんの勤務環境(給与や勤務状況)も整えていただけたらと思います。
- 介護生活になる不安は避けられない部分もありますが、「知らないこと」こそが不安を大きくするので、早くから現状を理解し、備えていきたい。
- 介護をする人を支える制度が不足し過ぎているように感じています。見ていて辛くなるような状況は改善できないものかと親戚や知人を見ていて思います。
- 高齢者一人で留守番をさせていることが気がかり。同居の家族は働いている為、何かあった時に対処が遅れる。地域の見回り隊的なものがあると少し安心出来る。
- 介護してくださる方が少なくなっている事が1番介護が充実しない要因だと思います。介護士さんのお給料をもっと上げて欲しいと思います。1人が抱える仕事量が多すぎるように感じます。